農業競争力強化農地整備事業
（農地整備事業【経営体育成型】）

土　地　改　良　事　業　計　画　書

（　区　画　整　理　）

県　　名	岩　　手
地　区　名	上　野　原
所　在　地	奥　州　市
事業主体	岩　手　県

土　地　改　良　事　業　計　画　書

目　　次

第１章　目　　的 ---------- 1
第２章　地域及び地積 ---------- 2
　第１節　地域 ---------- 2
　第２節　地積 ---------- 2
第３章　現　　況 ---------- 3
　第１節　気象及び海象 ---------- 3
　　１．一般気象 ---------- 3
　　２．特殊気象 ---------- 4
　　３．海象 ---------- 4
　第２節　土地状況 ---------- 5
　　１．地形、土壌及び侵食の程度 ---------- 5
　　２．土地分類 ---------- 7
　　３．土地利用の状況 ---------- 8
　　４．土地所有の状況 ---------- 9
　第３節　水利状況 ---------- 10
　　１．用水状況 ---------- 10
　　２．排水状況 ---------- 16
　　３．河川状況 ---------- 20
　第４節　道路概況 ---------- 21
　　１．道路概況 ---------- 21
　　２．主要道路一覧表 ---------- 22
　第５節　地域農業の概況 ---------- 24
　　１．産業別就業人口 ---------- 24
　　２．経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況
　　並びに専兼業別農家数 ---------- 25
　　３．動力農機具及び主要家畜頭数 ---------- 26
　　４．主要作物作付状況 ---------- 27
　　５．農業の動向 ---------- 28
　第６節　地域環境の概況 ---------- 28
第４章　一般計画 ---------- 29
　第１節　事業計画の要旨 ---------- 29
　　１．要旨 ---------- 29
　　２．事業別面積 ---------- 29
　第２節　営農計画及び土地利用計画 ---------- 30
　　１．営農計画の概要 ---------- 30
　　２．土地利用区分 ---------- 30
　　３．作付方式 ---------- 31
　　４．生産計画 ---------- 32
　　５．労働改善計画 ---------- 33
　　６．級地別土地利用区分 ---------- 34
　　７．土地配分計画 ---------- 34
　第３節　用水計画 ---------- 35
　　１．計画基準年 ---------- 35
　　２．計画かんがい方式 ---------- 35
　　３．計画用水系統 ---------- 35
　　４．計画用水量 ---------- 37
　　５．水源計画 ---------- 39
　第４節　排水計画 ---------- 42
　　１．計画基準雨量 ---------- 42
　　２．計画排水方式 ---------- 42
　　３．計画排水系統 ---------- 42
　　４．計画排水量 ---------- 44
　　５．排水対策 ---------- 45
　　６．湛水検討 ---------- 46
　第５節　道路計画 ---------- 47
　　１．道路及び索道 ---------- 47
　　２．路線配置図 ---------- 47
　第６節　農用地造成計画 ---------- 49
　　１．農用地造成計画 ---------- 49
　　２．土壌改良 ---------- 49
　第７節　洪水調節計画 ---------- 50
　　１．計画基準雨量 ---------- 50
　　２．計画洪水量及び調節量 ---------- 50
　　３．貯水池 ---------- 50
　　４．洪水調節検討 ---------- 51
　　５．管理計画 ---------- 51

第８節　干拓計画 ---------- 51
第９節　農用地整備計画 ---------- 52
１．区画整理 ---------- 52
２．暗渠排水 ---------- 54
３．客土 ---------- 55
４．農地保全 ---------- 55
第１０節 老朽ため池改修計画 ---------- 56
１．洪水吐改修計画 ---------- 56
２．堤体補強計画 ---------- 56
３．取水施設改修計画 ---------- 56
第５章　主要工事計画 ---------- 57
第１節　用水施設 ---------- 57
１．貯水池 ---------- 57
２．頭首工 ---------- 58
３．揚水機 ---------- 58
４．用水路 ---------- 59
５．その他かんがい施設 ---------- 59
第２節　排水施設 ---------- 60
１．排水水門 ---------- 60
２．排水機 ---------- 60
３．排水路 ---------- 61
４．その他排水施設 ---------- 61
第３節　道路及び索道 ---------- 62
１．道路 ---------- 62
２．索道 ---------- 62
第４節　農用地造成 ---------- 63
１．農用地造成 ---------- 63
２．土壌改良 ---------- 64
第５節　洪水調節施設 ---------- 65
１．貯水池 ---------- 65
２．頭首工及び導水路 ---------- 65
第６節　干拓施設 ---------- 65
１．堤防 ---------- 65
２．潮止め ---------- 65
３．付属施設 ---------- 65
４．埋立 ---------- 65
第７節　農用地整備施設 ---------- 66
１．区画整理 ---------- 66
２．暗渠排水 ---------- 67
３．客土 ---------- 67
４．除礫 ---------- 67
５．農地保全 ---------- 68
第８節　老朽ため池改修施設 ---------- 69
１．貯水池 ---------- 69
２．堤体補強施設 ---------- 69
第６章　附帯工事計画 ---------- 70
第７章　工事の着手及び完了の予定時期 ---------- 70
第８章　環境との調和への配慮 ---------- 70
第９章　換地計画の概要 ---------- 71
第１節　換地計画を作成する上での基本的な考え方 71
第２節　換地区の設定 ---------- 71
１．換地区の名称、所在、面積 ---------- 71
２．換地区を設定する理由 ---------- 71
第３節　換地計画樹立の基本方針 ---------- 72
１．従前の土地の地積の基準 ---------- 72
２．用途別予定地積 ---------- 73
３．農用地集団化の方針 ---------- 74
４．非農用地の換地方法 ---------- 74
第４節　土地の評価及び清算の方法 ---------- 75
１．評価の方法 ---------- 75
２．清算の方法 ---------- 75
第５節　換地計画樹立の年度計画 ---------- 75
第６節　換地処分の時期に関する特則 ---------- 75
第１０章 事業費の総額及び内訳 ---------- 76
第１１章 効　　用 ---------- 76
第１２章 関連する事業 ---------- 77
第１３章 現況・計画図面 ---------- 78
１．位　置　図 ---------- 78
２．現況計画平面図 ---------- 78
３．土地利用計画図 ---------- 78
４．主要構造図 ---------- 78

第１章　　目　　的

本地区は、奥州市前沢中心部より北西へ約3.0kmに位置し、胆沢扇状地の南東部にある水田地帯である。一級市道若柳線が本地区を東西に通っており、地区の南部を準用河川太郎ヶ沢川が北西から南へ、地区の北部を前沢水路及び岩堰川が北西から南東へ流れている。

営農形態は、水稲を中心として飼料作物の栽培にも取り組んでいる。

農地状況は、昭和30年代の団体営土地改良事業で整備されているものの、10a～20aと小区画である。また、農道は狭小であることから大型機械導入の妨げとなっている。さらに、水路の多くは用排兼用の土水路であり、安定的な用水確保ができず維持管理に多大な労力を費やしているほか、水路底が浅いため排水不良を来たし、作目の多様化が困難な状態である。

これらを解決するため、本事業により高生産性ほ場を整備し、営農や維持管理等の省力化を図ると共に、当地域の担い手へ農地の集積・集約化を加速化し、豊かで競争力ある農業の実現に資するものである。

第２章　地 域 及 び 地 積

第１節　地　　域

（第１表）

事 業 名	地　　域
区　画　整　理	岩手県奥州市胆沢小山、前沢　地内

第２節　地　　積

（令和7年12月現在）（第２表）

事業名	現況地目 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原　野 (ha)	山　林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備　　考
区　画　整　理	奥州市	100.4	1.5	0.7	0.0	10.4	113.0	
	計	100.4	1.5	0.7	0.0	10.4	113.0	
	計							
合　　計		100.4	1.5	0.7	0.0	10.4	113.0	

第３章　　現　　況

第１節　気象及び海象

１．一般気象

（岩手県農林水産部農村計画課　計画樹立参考資料　令和６年３月版）　　（第３表－１）

観測所名	若柳地域気象観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備考
観測期間	H25～R４年	５月～　８月	９月～　４月		
平均気温（℃）		20.4	6.5	11.2	
降水量	平均(mm)	563.8	728.7	1,292.5	
	基準年(mm)	－	－	－	
降水日数	平均(日)	46	89	135	
	基準年(日)	－	－	－	
根雪期間		月　日　～　月　日　日間			
無霜期間		４月29日　～　10月22日　177日間			
最多風向		S	最大風速（風向）	19.8（W）	最多風向発生時期　月～　月 最大風速発生年月日　平成30年３月２日

※最大風速のデータは気象庁ホームページによる。
※地区最寄りの衣川地域雨量観測所の一般気象データが無いため、若柳地域気象観測所のデータを使用。

２．特殊気象

（岩手県農林水産部農村計画課　計画樹立参考資料　令和6年3月版）
（第３表－２）

観測所名 衣川地域気象観測所	第１位			第２位			第３位			第４位			第５位			備考
観測期間 Ｓ31年～Ｒ4年	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
最大日雨量(mm) S32年～R4年	146.0	H19.9.7	1／61	143.0	S43.8.11	1／51	139.0	H14.7.11	1／40	125.0	S61.8.5	1／18	123.0	S41.6.28	1／16	
最大１時間雨量(mm) S31年～R4年	44.5	R3.6.15	1／30	44.0	S52.7.27	1／28	42.0	H11.9.11	1／20	40.0	H20.8.30	1／15	40.0	S57.9.12	1／15	
最大４時間雨量(mm) S31年～R4年	98.0	H19.9.7	1／44	94.5	H25.7.27	1／34	89.5	R1.10.13	1／23	86.5	R1.10.13	1／19	86.0	S33.9.18	1／18	
最大3日連続雨量(mm) S32年～R4年	220.0	H14.7.12	1／68	219.0	H14.7.11	1／66	202.0	S44.7.30	1／35	200.0	H10.8.31	1／32	185.0	S33.7.24	1／19	
最大連続旱天日数(日) S32年～R4年	48	S60.7.14	－	41	H6.7.9	－	38	S59.7.20	1／279	37	S53.7.2	1／187	33	H18.7.30	1／45	

３．海　　象　　該当なし

第２節　土地状況

１．地形、土壌及び侵食の程度

（第４表－１－１）

事業名	地目	田						畑・その他								受益地標高（m）		備考
	傾斜区分	1/1,000 以下	1/1,000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 以下	3° ～8°	8° ～15° 8° ～10°	8° ～15° 10° ～15°	8° ～15° 8° ～15°	15° ～20°	20° 以上	計	最高	最低	
区画整理	面積(ha)	1.1	41.3	47.6	9.9	0.5	100.4	1.5							1.5	112	78	
	比率(%)	1.1	41.1	47.4	9.9	0.5	100.0	100.0							100.0			
	面積(ha)																	
	比率(%)																	
合計	面積(ha)	1.1	41.3	47.6	9.9	0.5	100.4	1.5							1.5			
	比率(%)	1.1	41.1	47.4	9.9	0.5	100.0	100.0							100.0			

〔水田土壌〕

（第４表－１－２）

項目 / 土壌統（区）名	土壌統（区）区分一覧表										面積（ha）			備考
	土壌断面								堆積様式	母材	事業名			
	色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土性 表土 一層	土性 下層土 二層	土性 下層土 三層	泥炭層 黒泥層 及びグライ層			区画整理		計	
石名坂統 グライ土壌 強粘土構造型 E40	2.5YR4/2 5Y7/1 10Y8/1	含む なし なし	なし	なし	HC	HC	Lic	なし なし あり	洪積世堆積残積	固結火成岩 非固結堆積岩	85.2		85.2	
早坂統 黒色土壌 粘土火山腐植型 H70-1	10YR1/1 10YR1/1 10YR6/8	すこぶるとむ すこぶるとむ なし	なし	あり	HC	HC	HC	なし なし あり	洪積世堆積	非固結堆積岩	15.2		15.2	
計											100.4		100.4	

該当なし

（第４表－１－３）

事業名	区分	土壌の流亡率				年平均流亡速度				ガリ浸食の程度		備考
		0	0～25%	25～50%	50%以上	0	3mm未満	3～5mm	5mm以上	中程度のもの	大なるもの	
	面積(ha)											
	比率(%)											

２．　土地分類

該当なし　（第４表-２-１）

級地別 / 市町村名	農用地造成										計	備考
	一級地	二級地				三級地				四級地		
		※	3°～8°	8°～	12°～15°	※	15°～20°	20°～25°	25°～30°	30°以上		
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
計												

該当なし　（第４表-2-2）

級地別 / 市町村名	干拓					備考
	一級地（ha）	二級地（ha）	三級地（ha）	四級地（ha）	計（ha）	
計						

３．土地利用の状況

（令和７年12月現在）（第４表－３）

事業名	土地利用別 / 市町村名	耕地						山林			原野	その他	計	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	樹園地その他の (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
区画整理	奥州市	100.4	1.5					0.0			0.7	10.4	113.0	
合計		100.4	1.5					0.0			0.7	10.4	113.0	

４．土地所有の状況

（令和７年12月現在）　（第４表－４）

事業名	所有別 区　分	個人有	市有	県有	国有	土地改良区有		計	備　　考
区画整理	面　　積(ha)	103.4	6.3	－	－	3.3		113.0	
	受益者数(人)	166						166	
	筆　　数(筆)	765	147	－	－	127		1,039	
	権 利 関 係								
	備　　考 (関係戸数)	(173)	－	－	－	－		(173)	
	面　　積(ha)								
	受益者数(人)								
	筆　　数(筆)								
	権 利 関 係								
	備　　考 (関係戸数)								
合計	面　　積(ha)	103.4	6.3	－	－	3.3		113.0	
	受益者数(人)	166						166	
	筆　　数(筆)	765	147	－	－	127		1,039	
	権 利 関 係								
	備　　考 (関係戸数)	(173)	－	－	－	－		(173)	

第３節　水利状況

１．用水状況

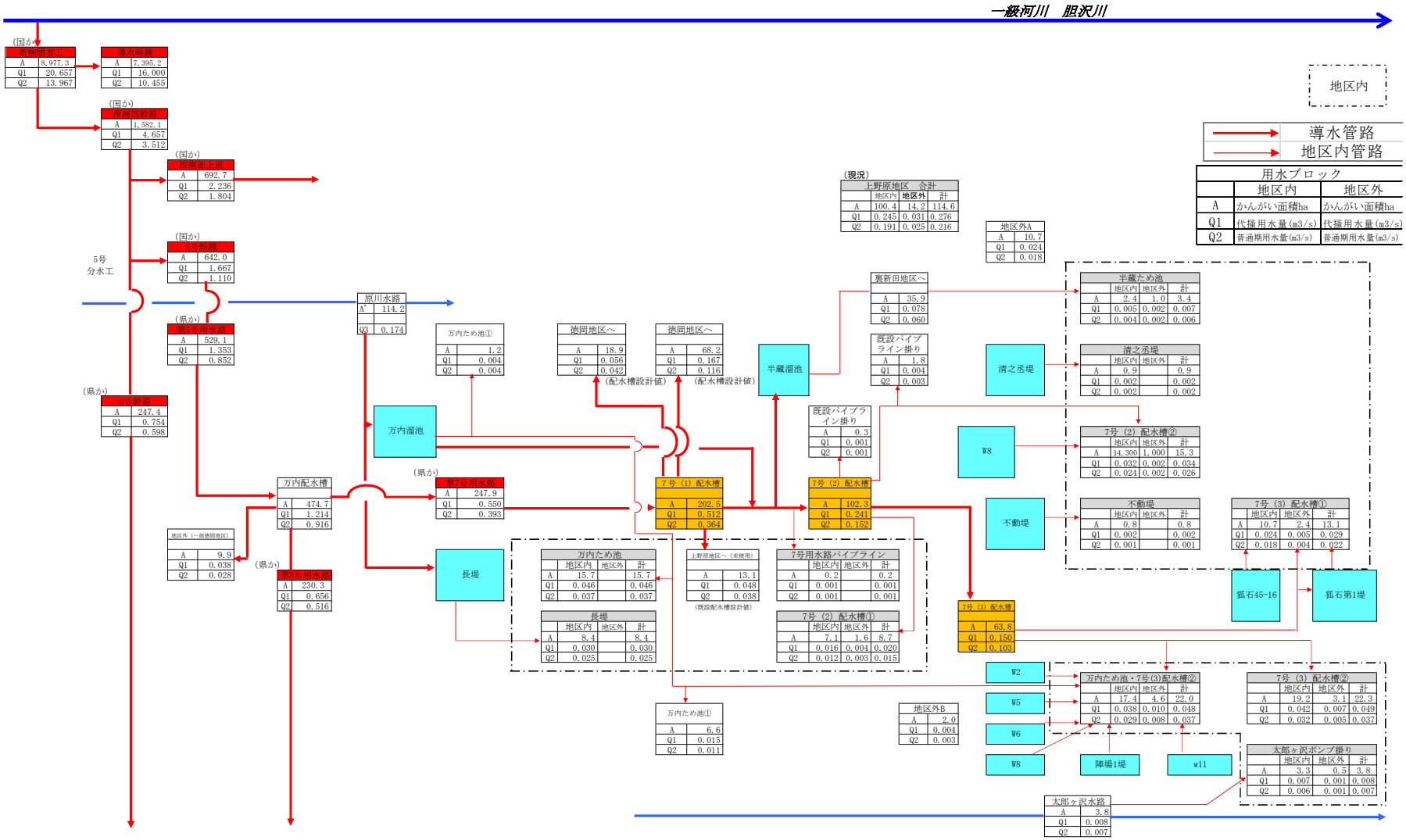
本地区の用水は、胆沢ダムを水源とし、国営胆沢平野農業水利事業で整備された若柳頭首工により一級河川胆沢川から取水している。取水後は、同国営事業で整備された西南部幹線用水路及び第5号幹線用水路、県営農業用水再編対策事業胆沢平野地区で整備された第5号用水路及び第7号用水路、団体営かんがい排水事業で整備された第7号用水路によりかんがいしているほか、地区内に複数存在するため池からもかんがいしている。また、太郎ヶ沢川から揚水機で取水しかんがいしている。

地区内の小用水路は、維持管理等で一部装工されているが、ほとんどは土水路で断面も一定ではなく、用排兼用となっている。そのため、土壌浸透による損失や崩落による断面阻害も生じており、水管理及び維持管理等に多大な労力と経費を費やしている。

（１） 用水系統

次頁参照

上野原地区　現況用水系統模式図（還元田）



（２）　用水施設

（ア）　取水方法一覧表

（第５表－１）

事業名	項目／施設名	かんがい面積 500ha以上 箇所	ha	500～100ha 箇所	ha	100ha未満 箇所	ha	計 箇所	ha	水利権 箇所	m^3/s	慣行水利権 箇所	m^3/s	延取水量 m^3/s	備考
区画整理	貯水池					4	25.8	4	25.8			－	－	0.080	長堤、万内堤、不動堤、清之丞堤掛り（ダム掛りを除くブロック）
	井堰					7	71.3	7	71.3			－	－	0.158	国営胆沢農業水利事業水利使用規則
	自然取水口														
	揚水機					1	3.3	1	3.3			－	－	0.007	
	その他														
	計					12	100.4	12	100.4	－	－	－	－	0.245	
合計						12	100.4	12	100.4	－	－	－	－	0.245	

※貯水池箇所は、補水のみの貯水池を除く。

※箇所数は、取水ブロックの系統数を示す。

（イ）改修を要する施設一覧表

（第５表－２）

事業名	項目 施設名	施設名又は箇所数	受益面積(ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
区画整理	貯水池							
	井堰							
	自然取水口							
	揚水機							
	用水路	12	100.4	土水路	L=9.2km	S50年代	区画整理	
	その他							
	計		100.4					
合計			100.4					

（３）　用水に関する被害状況

（ア）　用水不足による被害状況　　該当なし

（第５表-３-１）

事業名	項目／系統名	かんがい面積 (ha)	現況必要水量 (千m³)	不足水量				平均減産量 (t)	平均維持管理費 (千円)	備考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量				
				平均(m³/s)	基準年(m³/s)	平均(m³/s)	基準年(m³/s)			
	計									
合計										

（イ）その他の被害状況　　該当なし

（第５表-3-2）

事業名	時期別	かんがい面積 (ha)	水温(℃)		被害量 (t)	備考
			最高	最低		

（４）　ため池決壊の場合の想定被害状況

該当なし

（第５表-３-３）

事　業　名	想定被害面積(ha)				想定被害額（千円）						人命（人）	備　考
	水田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計		
計												
合　計												

２．排水状況

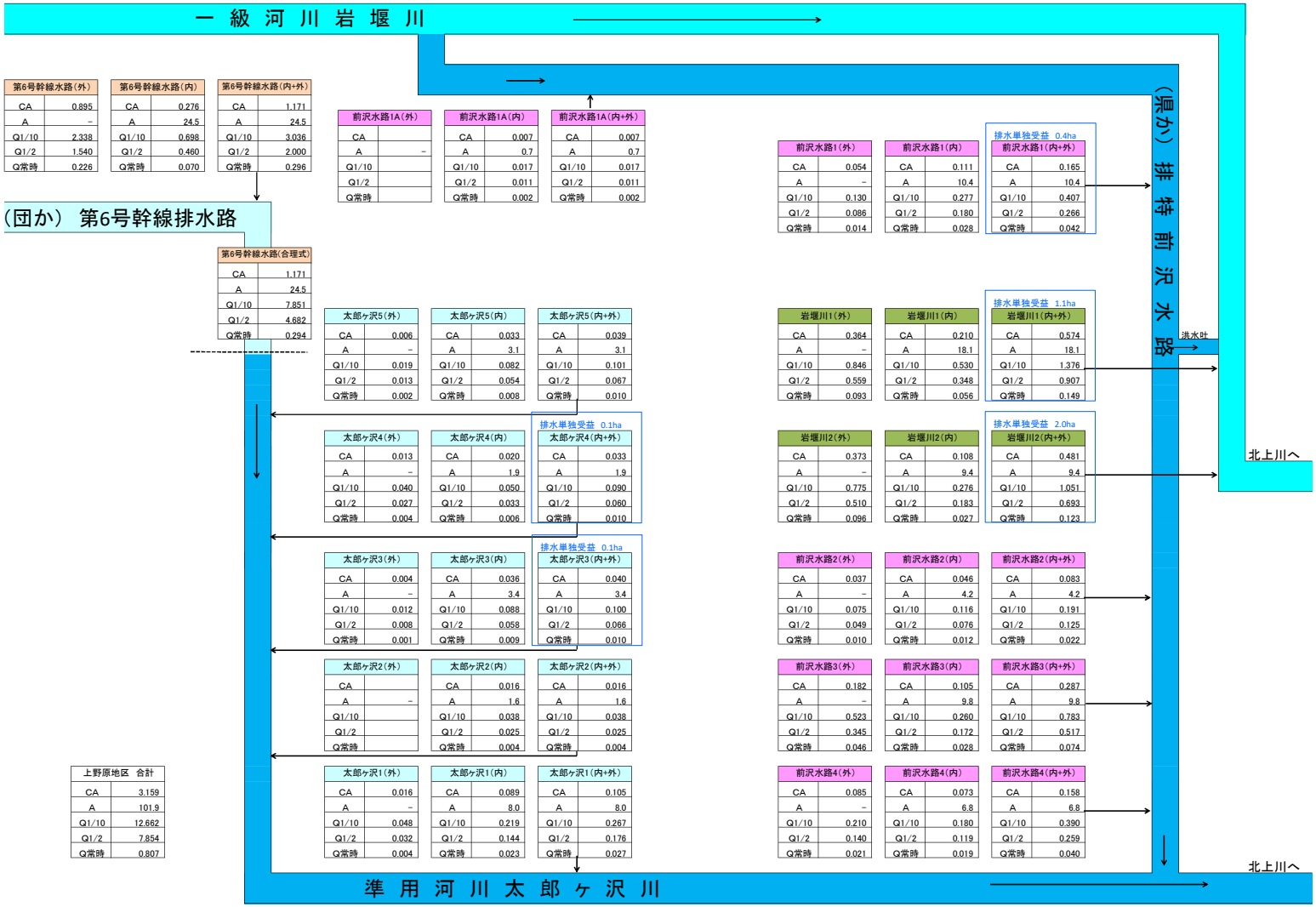
本地区の排水は、地区内の小排水路から一級河川岩堰川、準用河川太郎ヶ沢川及び前沢水路へ排水される。

地区内の小排水路は、土水路で用排兼用となっており、水路底が浅く、表面水のみが排水可能な状況であるため、水田の汎用化が行えない状況となっている。また、法面の崩落等による通水障害も生じており、維持管理に多大な労力と経費を費やしている。

(1) 排水系統

次頁参照

上野原地区　現況排水系統模式図



第6号幹線水路(外)	
CA	0.895
A	–
Q1/10	2.338
Q1/2	1.540
Q常時	0.226

第6号幹線水路(内)	
CA	0.276
A	24.5
Q1/10	0.698
Q1/2	0.460
Q常時	0.070

第6号幹線水路(内+外)	
CA	1.171
A	24.5
Q1/10	3.036
Q1/2	2.000
Q常時	0.296

第6号幹線水路(合理式)	
CA	1.171
A	24.5
Q1/10	7.851
Q1/2	4.682
Q常時	0.294

前沢水路1A(外)	
CA	
A	–
Q1/10	
Q1/2	
Q常時	

前沢水路1A(内)	
CA	0.007
A	0.7
Q1/10	0.017
Q1/2	0.011
Q常時	0.002

前沢水路1A(内+外)	
CA	0.007
A	0.7
Q1/10	0.017
Q1/2	0.011
Q常時	0.002

前沢水路1(外)	
CA	0.054
A	–
Q1/10	0.130
Q1/2	0.086
Q常時	0.014

前沢水路1(内)	
CA	0.111
A	10.4
Q1/10	0.277
Q1/2	0.180
Q常時	0.028

前沢水路1(内+外)	
CA	0.165
A	10.4
Q1/10	0.407
Q1/2	0.266
Q常時	0.042

太郎ヶ沢5(外)	
CA	0.006
A	–
Q1/10	0.019
Q1/2	0.013
Q常時	0.002

太郎ヶ沢5(内)	
CA	0.033
A	3.1
Q1/10	0.082
Q1/2	0.054
Q常時	0.008

太郎ヶ沢5(内+外)	
CA	0.039
A	3.1
Q1/10	0.101
Q1/2	0.067
Q常時	0.010

岩堰川1(外)	
CA	0.364
A	–
Q1/10	0.846
Q1/2	0.559
Q常時	0.093

岩堰川1(内)	
CA	0.210
A	18.1
Q1/10	0.530
Q1/2	0.348
Q常時	0.056

岩堰川1(内+外)	
CA	0.574
A	18.1
Q1/10	1.376
Q1/2	0.907
Q常時	0.149

太郎ヶ沢4(外)	
CA	0.013
A	–
Q1/10	0.040
Q1/2	0.027
Q常時	0.004

太郎ヶ沢4(内)	
CA	0.020
A	1.9
Q1/10	0.050
Q1/2	0.033
Q常時	0.006

太郎ヶ沢4(内+外)	
CA	0.033
A	1.9
Q1/10	0.090
Q1/2	0.060
Q常時	0.010

岩堰川2(外)	
CA	0.373
A	–
Q1/10	0.775
Q1/2	0.510
Q常時	0.096

岩堰川2(内)	
CA	0.108
A	9.4
Q1/10	0.276
Q1/2	0.183
Q常時	0.027

岩堰川2(内+外)	
CA	0.481
A	9.4
Q1/10	1.051
Q1/2	0.693
Q常時	0.123

太郎ヶ沢3(外)	
CA	0.004
A	–
Q1/10	0.012
Q1/2	0.008
Q常時	0.001

太郎ヶ沢3(内)	
CA	0.036
A	3.4
Q1/10	0.088
Q1/2	0.058
Q常時	0.009

太郎ヶ沢3(内+外)	
CA	0.040
A	3.4
Q1/10	0.100
Q1/2	0.066
Q常時	0.010

前沢水路2(外)	
CA	0.037
A	–
Q1/10	0.075
Q1/2	0.049
Q常時	0.010

前沢水路2(内)	
CA	0.046
A	4.2
Q1/10	0.116
Q1/2	0.076
Q常時	0.012

前沢水路2(内+外)	
CA	0.083
A	4.2
Q1/10	0.191
Q1/2	0.125
Q常時	0.022

太郎ヶ沢2(外)	
CA	
A	–
Q1/10	
Q1/2	
Q常時	

太郎ヶ沢2(内)	
CA	0.016
A	1.6
Q1/10	0.038
Q1/2	0.025
Q常時	0.004

太郎ヶ沢2(内+外)	
CA	0.016
A	1.6
Q1/10	0.038
Q1/2	0.025
Q常時	0.004

前沢水路3(外)	
CA	0.182
A	–
Q1/10	0.523
Q1/2	0.345
Q常時	0.046

前沢水路3(内)	
CA	0.105
A	9.8
Q1/10	0.260
Q1/2	0.172
Q常時	0.028

前沢水路3(内+外)	
CA	0.287
A	9.8
Q1/10	0.783
Q1/2	0.517
Q常時	0.074

太郎ヶ沢1(外)	
CA	0.016
A	–
Q1/10	0.048
Q1/2	0.032
Q常時	0.004

太郎ヶ沢1(内)	
CA	0.089
A	8.0
Q1/10	0.219
Q1/2	0.144
Q常時	0.023

太郎ヶ沢1(内+外)	
CA	0.105
A	8.0
Q1/10	0.267
Q1/2	0.176
Q常時	0.027

前沢水路4(外)	
CA	0.085
A	–
Q1/10	0.210
Q1/2	0.140
Q常時	0.021

前沢水路4(内)	
CA	0.073
A	6.8
Q1/10	0.180
Q1/2	0.119
Q常時	0.019

前沢水路4(内+外)	
CA	0.158
A	6.8
Q1/10	0.390
Q1/2	0.259
Q常時	0.040

上野原地区　合計	
CA	3.159
A	101.9
Q1/10	12.662
Q1/2	7.854
Q常時	0.807

(2) 排水施設

（ア）排水方法一覧表

（第５表－４）

事業名	項目 / 施設名		排水面積 500ha以上 箇所	500ha以上 ha	500～100ha 箇所	500～100ha ha	100ha未満 箇所	100ha未満 ha	計 箇所	計 ha	排水慣行 (m^3/s)	現況排水能力 (m^3/s)	備考
区画整理	自然	排水路			1	117.1	12	198.8	13	315.9		12.662	
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計				1	117.1	12	198.8	13	315.9		12.662	
合計					1	117.1	12	198.8	13	315.9		12.662	

※箇所は、排水系統の系統数を示す。

（イ）改修を要する施設一覧表

（第５表－５）

事業名	項目 / 施設名		施設名又は箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
区画整理	自然	排水路	全体	101.9	土水路	L=9.8km	S50年代	区画整理に伴う改修	
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
	計			101.9					
合計				101.9					

（３）　排水に関する被害状況

該当なし　　（第５表-６）

事業名	項目／系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛水状況 湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m³)	乾湿状況（ha） 田 乾	田 湿	畑 乾	畑 湿	その他 乾	その他 湿	平均減産量 (t)	平均維持管理費 (千円)	備考
			平　均														
			基準年														
			平　均														
			基準年														
			平　均														
			基準年														
			平　均														
			基準年														
	計		平　均														
			基準年														
合　計			平　均														

３．河 川 状 況

（１）　河川の現況

該当なし　　（第５表-７）

項目 河川名	流路状況	勾　　配	断　　面	安全洪水量 (m³/s)	既往最大洪水量 (m³/s)	備　　考

（２）洪水に関する被害状況

該当なし　　（第５表-８）

項目 区分	農　用　地 （千円）	農　用　施　設 （千円）	作　　物 （千円）	公　共　施　設 （千円）	備　　考
過去の最大被害額					
平均被害額					

第４節　道路概況

１．道路概況

一級市道若柳線が本地区を東西に、一級市道太郎ヶ沢線及び大林寺坂線が本地区を南北に通っているほか、二級市道不動堤線、山下線が基幹道路として地区内の他路線と接続しており、それらを利用して通作している。

ほ場内の耕作道は、砂利または土砂道で、幅員は2.0m～3.0m程度と狭く、大型機械の導入が困難な状況となっている。

２．　主要道路一覧表　　（第６表）（1/2）

No.	路　線　名	管理区分別	延　長 (m)	幅　員（m） 全　幅	幅　員（m） 有　効	構　造	改修の要否	備　考 (道路番号)
1	１級市道 若柳線	市	1,545	(1)12.0 (2)7.5	(1)11.4 (2)6.5	AS	否	104(1)
2	１級市道 道場下沢田線	〃	47	9.2	7.6	AS	否	107(1)
3	１級市道 北二ノ台線	〃	300	6.8	6.0	AS	否	105(1)
4	１級市道 太郎ヶ沢線	〃	636	7.0	6.0	AS	否	103(1)
5	１級市道 大林寺坂線	〃	473	7.0	6.0	AS	否	113(1)
6	２級市道 不動堤線	〃	689	4.0	3.2	AS	要(一部拡幅)	205(2)
7	２級市道 山下線	〃	55	6.8	6.2	AS	否	204(2)
8	その他市道 小山沢田外浦１号線	〃	189	(1)3.6 (2)3.0	(1)3.0 (2)2.5	AS(簡易)	要(一部拡幅)	834(3)
9	その他市道 持堤下線	〃	358	(1)5.6 (2)5.3	(1)4.8 (2)4.5	AS	否	840(3)
10	その他市道 原川持堤下線	〃	688	3.5	1.7	土砂	要	692(3)
11	その他市道 外浦持堤下線	〃	796	3.0	1.7	砂利	要	836(3)
12	その他市道 養ケ森３号線	〃	149	2.7	2.0	砂利	要	2096(3)
13	その他市道 簾森養ケ森線	〃	134	6.2	5.0	AS	否	2122(3)
14	その他市道 狐石前沢赤坂１号線	〃	128	5.5	4.6	AS	否	1076(3)
15	その他市道 裏新田線	〃	183	5.2	5.0	AS	否	1084(3)
16	その他市道 裏新田２号線	〃	200	2.5	2.2	AS	要(一部拡幅)	1072(3)
17	その他市道 下北上野前沢赤坂線	〃	795	6.9	6.3	AS	否	1085(3)
18	その他市道 狐石３号線	〃	313	2.8		土砂	要	1077(3)
19	その他市道 狐石１号線	〃	570	5.3	4.8	AS	否	1078(3)
20	その他市道 狐石２号線	〃	276	3.1	1.8	砂利	要	1129(3)

２．　主要道路一覧表　　（第６表）(2/2)

21	その他市道 簾森陣場線	〃	158	3.0	2.0	砂利	要	2124(3)
22	その他市道 陣場太郎ヶ沢線	〃	72	(1)5.0(2)2.3	(1)4.6(2)2.0	AS,砂利	否	2125(3)
23	その他市道 陣場１号線	〃	134	2.9	2.2	砂利	要	2087(3)
24	その他市道 陣場２号線	〃	174	2.3	1.7	土砂	要	2088(3)
25	その他市道 陣場３号線	〃	233	5.3	4.5	AS	否	2089(3)
26	その他市道 陣場９号線	〃	208	5.5	4.5	AS	否	2170(3)
27	その他市道 陣場４号線	〃	166	2.3	2.0	砂利	要	2090(3)
28	その他市道 陣場５号線	〃	714	3.0	2.5	砂利	要	2091(3)
29	その他市道 陣場６号線	〃	51	2.3	1.8	砂利	要	2093(3)
30	その他市道 閑居坂線	〃	95	3.0	2.0	砂利	要	2092(3)
31	その他市道 前沢赤坂狐石線	〃	215	2.7	2.0	砂利	要	1130(3)
32	その他市道 前沢赤坂１号線	〃	631	2.8	1.8	砂利	要	1080(3)
33	その他市道 前沢赤坂２号線	〃	360	3.0	1.8	砂利	要	1081(3)
34	その他市道 前沢赤坂３号線	〃	218	3.0	1.8	砂利	要	2027(3)
35	その他市道 養ケ森前沢赤坂線	〃	351	3.5	2.5	AS	要（一部拡幅）	1079(3)
36	その他市道 前沢赤坂山下線	〃	265	3.4	2.5	砂利	要	2028(3)
37	その他市道 前沢赤坂４号線	〃	19	7.4	6.3	AS	否	2169(3)
38	その他耕作道		8,094					

3）現況道路網図

第５節　地域農業の概況

１．産業別就業人口

（岩手県統計年鑑（令和２年国勢調査））（第７表－１）

項目 市町村名	総数 （人）	農業 （人）	林業 （人）	漁業 （人）	鉱業 （人）	建設業 （人）	製造業 （人）	電気ガス熱供給水道業 （人）	運輸通信業 （人）	卸売小売業飲食店 （人）	金融保険業 （人）	不動産業 （人）	サービス業 （人）	公務 （人）	その他 （人）	備考
奥州市	58,252	7,328	152	4	12	4,979	11,969	229	2,817	7,577	851	597	9,602	1,663	10,472	
計	58,252	7,328	152	4	12	4,979	11,969	229	2,817	7,577	851	597	9,602	1,663	10,472	
比率（%）	100%	13%	0%	0%	0%	9%	21%	0%	5%	13%	1%	1%	16%	3%	18%	

２．経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

（2020農林業センサス）　　（第７表－２）

区分 / 市町村名	農家総戸数（戸）	（戸）										一戸当たり平均農用地面積（ha）						耕地の分散状況		専兼業別農家数（戸）			備考
		経営耕地なし	～0.5	0.5～1.0	1.0～1.5	1.5～2.0	2.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0ha以上	自給的農家	田	畑	樹園地	小計	その他	計	一戸当たり団地数	団地当たり面積（ha）	専業	兼業 第一種	兼業 第二種	
奥州市	8,200	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2,127	1.63	0.18	0.03	1.84	－	1.84	－	－	－	－	－	
計	8,200	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2,127	1.63	0.18	0.03	1.84	－	1.84	－	－	－	－	－	
比率	100%										26%	89%	10%	1%	100%	－	100%	－	－	－	－	－	

３．動力農機具及び主要家畜頭数

（2020農林業センサス）　　（第７表－３）

項目 / 市町村名	動力農機具								主要家畜						備考
	耕うん機及びﾄﾗｸﾀｰ		動力防除機		動力田植機		コンバイン		乳用牛		肉用牛		豚		
	数量（台）	戸数（戸）	数量（台）	戸数（戸）	数量（台）	戸数（戸）	数量（台）	戸数（戸）	数量（頭）	戸数（戸）	数量（頭）	戸数（戸）	数量（頭）	戸数（戸）	
奥州市	－	－	－	－	－	－	－	－	735	25	15,854	683	x	4	
計	－	－	－	－	－	－	－	－	735	25	15,854	683	x	4	
100戸当たり数量（台、頭）	－		－		－		－		9		193		－		農家戸数 8,200戸
利用戸数割合（%）	－		－		－		－		0%		8%		0%		

４．主要作物作付状況

（2020農林業センサス）　　（第７表－４）

市町村名			奥州市				計	平均		
総耕地面積(ha)			19,800				19,800	19,800		
区分 / 作物名			作付面積(ha)	単位面積当たり収量(kg/10a)	作付面積(ha)	単位面積当たり収量(kg/10a)	作付面積(ha)	単位面積当たり収量(kg/10a)	作付率(%)	備考
田	表作	水稲	10,285	558			10,285	558	68	
	裏作	小麦等								
	小計		10,285				10,285		68	
普通畑	春夏作	麦類(小麦他)	154	162			154	162	1	
		豆類(大豆他)	1,384	141			1,384	141	9	
		野菜類(なす他)	200	－			200	－	1	
		花き類・花木(りんどう他)	71	－			71	－	0	
		牧草	651	－			651	－	5	
		その他	2,028	－			2,028	－	14	
	計		4,488				4,488		30	
樹園地	果樹類（りんご他）		277	－			277	－	2	
	小計		277				277		2	
計			15,050				15,050		100	
市町村別延べ作付率(%)			76				76			

５．農業の動向

（2020農林業センサス）　　（第７表－５）

項目 / 区分	農家			土地			主要作物			主要家畜			動力農機具			その他	地域指定等	備考
		B (H27)	A (R2)		B (H27)	A (R2)	作物名	B (H27)	A (R2)	家畜名	B (H27)	A (R2)	農機具名	B (H27)	A (R2)			
変化の状況（C年を100とする指数）	総農家数	87	70	耕地	96	85	水稲	100	100	乳用牛	47	33	耕耘機 ﾄﾗｸﾀｰ	88	－		農振 S45.3	A:令和2年(2020)
	専業農家数	99	－	田	99	87	野菜類	77	78	肉用牛	69	50	動力田植機	83	－			
	第1種兼業農家数	58	－	畑	75	68	麦類	116	77	豚	37	50	ｺﾝﾊﾞｲﾝ	96	－			
	第2種兼業農家数	82	－	樹園地	90	68	豆類	96	124	採卵鶏	71	50	動力防除機	－	－			B:平成27年(2015)
	農業従事者数	75	54				花類	77	108									
																		C:平成22年(2010)
変化の理由	総農家数は減少しており、農地集積等による担い手対策の推進、認定農業者や法人組織の育成により、農業従事者も減少している。			農地転用が進み農用地の減少が進んでいる。			水田の基盤整備、汎用化が図られ、豆類、花類等の栽培が進み、経営の多角化が進んでいる。			人口減少、畜産従事者の高齢化に伴い、畜産経営体数が減少している。			－					

第６節　地域環境の概況

本地域は、「水の郷百選」に選出された「水と緑の散居のまち」奥州市胆沢、前沢地域内にあり、「えぐね」や「きずま」といった田園風景と自然環境が調和し、地域住民に潤いと安らぎの場を提供している。

本地区は田園環境整備マスタープランにおいて「環境配慮区域」とされており、地域で生育・生息が確認されている動植物の生息環境への負荷の低減に努め、現況保全すること等により、環境の改変を最小限にするよう努めることとしている。また、地区内には、「環境省レッドリスト」及び「いわてレッドデーターブック」に登載されている希少動植物の生育・生息が確認されている。

第４章　一　般　計　画

第１節　事業計画の要旨

１．要　　旨

本地区は、昭和30年代に耕地整備されているものの、区画規模は10ａ～20ａ程度と小区画であるうえ、農道の幅員もほとんどが２ｍ程度と狭小で、大型機械の通行が困難であることから、効率的な営農の展開が不可能な状態となっている。また、地区内の小用排水路のほとんどが土水路となっており、維持管理に多大な労力を費やしている。

このため本事業では、94.9haの農用地に対し区画整理を行い標準区画50a～100aのほ場を整備する。また、暗渠排水92.2haを併せて整備し乾田化を図る。さらに、総延長12.0kmの支線道路を標準幅員５～４ｍの敷砂利舗装に、用水路は総延長16.8kmをパイプラインにて整備する。排水路は総延長14.3kmを鉄筋コンクリート二次製品にて整備する。

これらの整備により、営農及び維持管理等の省力化を図ると共に、担い手への農地集積を一体的に推進し農業経営の安定化を図るものである。

２．事業別面積

（第８表）

事業名	区画整理																		計	備考
土地利用区分 / 事業目的	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	(ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	(ha)	小計 (ha)	(ha)	
区画整理	92.2	2.7			18.1	113.0													113.0	
計	92.2	2.7			18.1	113.0													113.0	

第２節　営農計画及び土地利用計画

１．営農計画の概要

農業経営の安定化を図るため、担い手に農地の利用集積・集約化を進め、主食用米を中心としつつ、土地利用型の転作作物を作付する。また、農家所得の向上に向け、園芸作物の作付拡大を図る。

２．土地利用区分

（第９表－１）

事業名	土地利用区分 / 区分	水　田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶　園 (ha)	その他 (ha)	小　計 (ha)	原　野 (ha)	山　林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
区画整理	現　況	100.4	1.5	－	－	－	－	101.9	0.7	0.0	10.4	113.0	
	計　画	92.2	2.7	－	－	－	－	94.9	－	－	18.1	113.0	その他：道路、水路
	現　況												
	計　画												
計	現　況	100.4	1.5	－	－	－	－	101.9	0.7	0.0	10.4	113.0	
	計　画	92.2	2.7	－	－	－	－	94.9	－	－	18.1	113.0	

３．作付方式

（第９表－２）

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1年目	2年目	3年目	4年目	備考
区画整理	現況	水稲＋野菜＋飼料作物	田	水稲 牧草 WCS	水稲 牧草 WCS	水稲 牧草 WCS	水稲 牧草 WCS	
		牧草・きゅうり	畑	牧草 きゅうり	牧草 きゅうり	牧草 きゅうり	牧草 きゅうり	
	計画	水稲＋大豆＋野菜＋飼料作物	田	水稲 牧草 WCS 大豆 きゅうり ピーマン	水稲 牧草 WCS 大豆 きゅうり ピーマン	水稲 牧草 WCS 大豆 きゅうり ピーマン	水稲 牧草 WCS 大豆 きゅうり ピーマン	
		牧草	畑	牧草	牧草	牧草	牧草	

４．生産計画

（現況本地率　水田:93.9%　畑:97.5%）
（計画本地率　水田:94.4%　畑:96.2%）

（第９表－３）

事業名	項目／土地利用区分		作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり収穫量(kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当たり収量増加	
区画整理	水田	表作	水稲(主食用米)	67.5	62.9	△ 4.6	70.5	70.2	558	602	44	376.7	378.7	2.0	△ 25.7	27.7	
			大豆	－	11.9	11.9	－	13.3	142	234	92	－	27.8	27.8	27.8		
			ピーマン	－	0.7	0.7	－	0.8	4,820	8,435	3,615	－	59.0	59.0	59.0		
			きゅうり	－	0.5	0.5	－	0.6	5,016	5,518	502	－	27.6	27.6	27.6		
			WCS用稲	0.6	6.4	5.8	0.6	7.1	2,400	2,592	192	14.4	165.9	151.5	150.3	1.2	
			牧草	14.0	4.6	△ 9.4	14.6	5.1	2,696	3,936	1,240	377.4	181.1	△ 196.3	△ 253.4	57.0	
			自己保全管理	11.9	－	△ 11.9	12.4	－									
			調整水田	0.3	－	△ 0.3	0.3	－									
	小　計			94.3	87.0	△ 7.3	98.4	97.1									
	普通畑	春夏秋作	牧草	1.3	2.6	1.3	1.4	2.9	2,696	2,696	0	35.0	70.0	35.0	35.0		
			きゅうり	0.2	－	△ 0.2	0.2	－	5,016	5,016	0	10.0		△ 10.0	△ 10.0		
	小　計			1.5	2.6	1.1	1.6	2.9									
合　計				95.8	89.6	△ 6.2	100.0	100.0									

※作付面積は本地面積で整理　※面積、生産量は用排単独受益を除く

５．労働改善計画

（計画本地率　水田:94.4%）　　（第９表－４）

事業名	項目／土地利用区分	作物名	作付面積(ha)	単位面積当たり労働投下量（hr/10a） 区分	現況	計画	増減	備考
区画整理	水田	水稲（担い手⇒組織）	11.8	人力	29.2	8.2	△ 21.0	(No.4) 10a湿田→大区画乾田
				機械力	21.2	12.2	△ 9.0	
		水稲（個別⇒組織）	51.1	人力	38.4	8.2	△ 30.2	(No.4) 10a湿田→大区画乾田
				機械力	37.6	12.2	△ 25.4	
		牧草（組織）	4.6	人力	5.6	5.0	△ 0.6	(No.103)10a湿田→大区画乾田
				機械力	5.6	5.0	△ 0.6	
		大豆（組織）	11.9	人力	12.5	4.2	△ 8.3	(No.22)10a湿田→大区画乾田
				機械力	22.6	6.8	△ 15.8	
		WCS用稲（組織）	6.4	人力	20.0	5.7	△ 14.3	(No.11)10a湿田→大区画乾田
				機械力	15.5	5.6	△ 9.9	
		きゅうり（組織）	0.5	人力	1,046.8	1,040.0	△ 6.8	(No.29)10a湿田→大区画乾田
				機械力	24.0	23.7	△ 0.3	
		ピーマン（組織）	0.7	人力	469.0	467.6	△ 1.4	(No.37)10a湿田→大区画乾田
				機械力	15.2	14.8	△ 0.4	
	計		87.0					
合計			87.0					

6．　級地別土地利用区分

該当なし　　（第９表-５）

区分 / 級地名 / 土地利用区分		農用地造成（ha）					干拓（ha）					合計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	（普通畑）											
	（牧草地）											
	樹園地											
	（果樹園）											
	（桑園）											
その他												
計												

7．　土地配分計画

該当なし　　（第９表-６）

項目 / 区分	配分戸数（戸）	地目別配分計画（ha）								備考
		田	輪換耕地	畑					計	
				普通畑	牧草地	樹園地				
増反		（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	
入植		（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	

第３節　用水計画

１．計画基準年

昭和53年

（本地区の上位事業である、「国営胆沢平野農業水利事業」及び「県営農業用水再編対策事業胆沢平野地区」より）

２．計画かんがい方式

水田(水稲)　　湛水かんがい方式

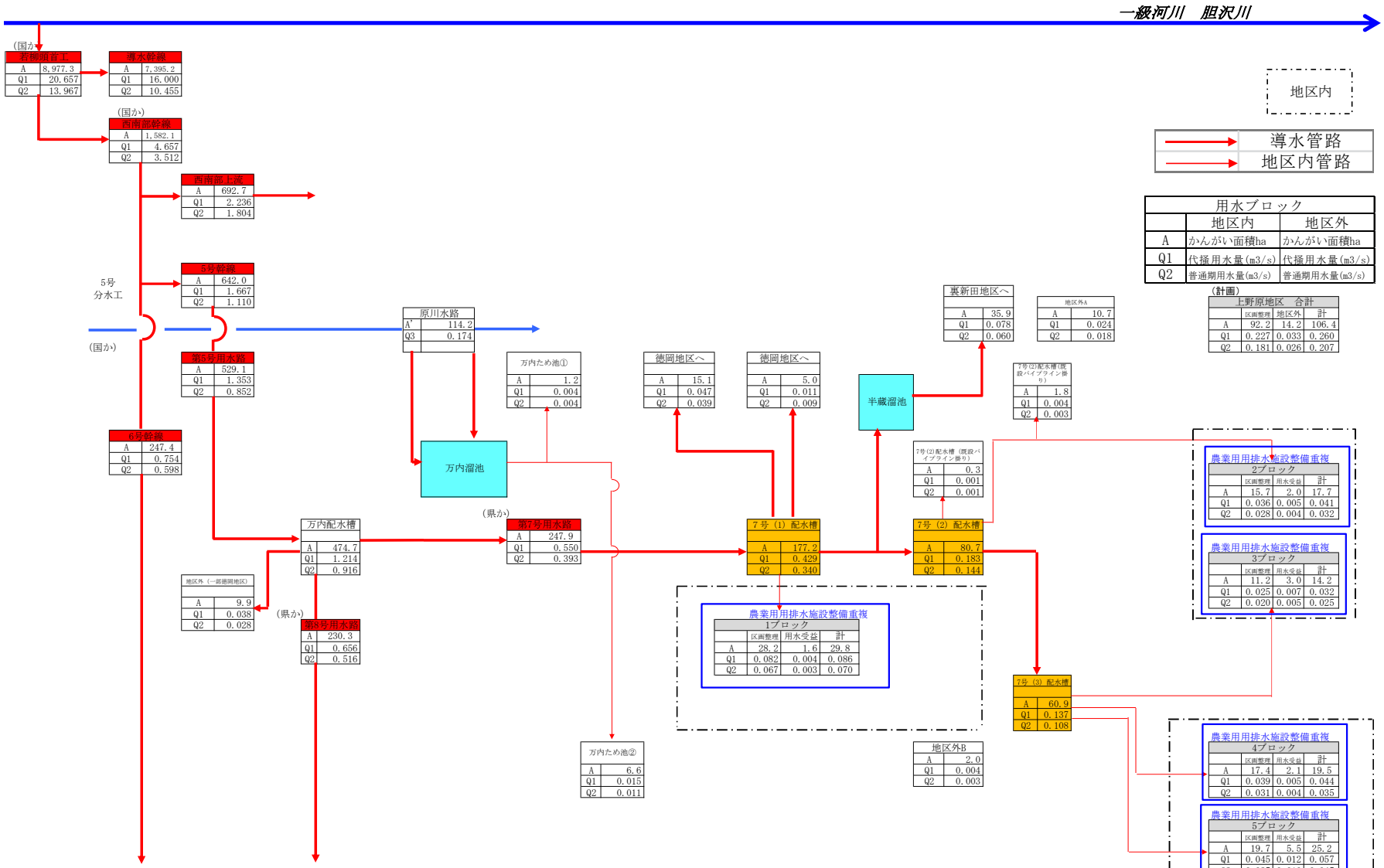
かんがい期間 ４月21日～９月10日　　143日間

（代掻き期間４月21日～５月５日　　15日間）

３．計画用水系統

次頁参照

上野原地区　計画用水系統模式図（還元田）



既設配水槽、既設パイプライン設計流量（県営かんがい排水事業胆沢平野地区全体実施設計書（H1、3月）より

	7号（1）配水槽	7号（2）配水槽	7号（3）配水槽
A	202.5	102.3	63.8
Q1	0.512	0.241	0.150
Q3	0.364	0.152	0.103

（Q2とQ3で小さい方の値を記載）

４．計画用水量

(1)　かんがい用水

（第１０表－１－１）

項目 / 系統名	種別	面積(ha) 事業名 区画整理	用排水	計	水田かんがい 普通期 計画平均単位用水量(mm/日)	代かき期 計画単位代かき用水量(mm)	面積(ha)	水田畑利用 普通期 計画平均単位用水量(mm/日)	代かき期 計画単位代かき用水量(mm)	面積(ha)	畑地かんがい 一日当たり計画平均かん水深(mm/日)	平均間断日数(日)	面積(ha)	その他 計画平均単位用水量(mm/日)	面積(ha)	消費水量(m3/s)	損失率(%)	粗用水量 平均(m3/s)	最大(m3/s)	備考
第7号用水路	農業用水	92.2	14.2	106.4	14	101	28.5	19	146	51.9	3		26.0			0.234	10	0.207	0.260	
計		92.2	14.2	106.4			28.5			51.9			26.0			0.234		0.207	0.260	

※水田畑地地用の面積は、輪換1年目のみ。（水利権資料より）稲転率24.4%

（２）　営 農 飲 雑 用 水

該当なし

（第１０表-１-２）

区分	利用目的	対象面積（ha）			日当たり給水量		補給回数	関係戸数	備考
		事業名			単位給水量	最大給水量			
				計	（ﾘｯﾄﾙ/日）	（ﾘｯﾄﾙ/日）	（回）	（戸）	

５．水源計画

(1)　水利用計画

有効雨量　　水田(水稲)：5㎜/日～80㎜/日の80％

（畑利用）：－

TRAM　　水田(畑利用)：－㎜

間断日数　　水田(畑利用)：－日

かんがい効率　　水田(水稲)：90％（パイプライン）、85％（開水路）

水田(畑利用)：－％

（第１０表－２）

項目 / 区分		消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源工種	備考
						水源名	取水地点利用可能量	ほ場利用可能量	純不足水量	全不足水量	水源名	水量		
		a (千m³)	b (千m³)	c=a-b (千m³)	d=c/(1-α) (千m³)		e (千m³)	f (千m³)	g=c-f (千m³)	h=d-e (千m³)		(千m³)		損失率：α
区画整理	区画整理	2,363		2,363	2,626	胆沢川	2,626	2,363					若柳頭首工	0.10
	計	2,363		2,363	2,626		2,626	2,363						

（２）用水対策

（ア）　貯　水　池　　該当なし

（第１０表－３）

項目 / 貯水池名	流域面積（km²）		かんがい面積（ha）			純貯水量	有効貯水量	利用貯水量	利用回数	最大取水量	備考
	直接	間接	事業名								
			地区内		計	（千m³）	（千m³）	（千m³）	（回）	（m³／s）	

（イ）井堰及び自然取入口　　該当なし

（第１０表－４）

項目 / 取水施設名	河川名	流域面積（km²）	かんがい面積（ha）			取水量（m³/s）		渇水量（m³/s）	備考
			事業名			最大	平均		
			区画整理		計				

（ウ）　揚　水　機　　該当なし

（第１０表－５）

項目 / 名称	水源名	かんがい面積（ha）			所要水量（m³/s）		揚水機				備考
		事業名					実揚程（m）	揚水量（m³/s）	台数（台）	全揚水量（m³/s）	
		区画整理		計	最大	平均					

（エ）用　水　路

（第１０表－６）

項目 / 名称	かんがい面積（ha） 事業名 区画整理	用排水	計	最大通水量（m^3/s）	延長（m）	構造	備考
用水路工	92.2	14.2	106.4	0.086	16,792	VU75～VU450	
計	92.2	14.2	106.4		16,792		

（オ）その他の水源施設　　該当なし

（３）　水質水温　　該当なし

第４節　排水計画

１．計画基準雨量

（岩手県農林水産部農村計画課　計画樹立参考資料　令和６年3月版　衣川雨量観測所）

最大２４時間雨量	136.0 mm （1／10年）	94.3 mm （1/2年）
最大　４時間雨量	77.4 mm （1／10年）	51.0 mm （1/2年）
最大　１時間雨量	37.2 mm （1／10年）	24.8 mm （1/2年）

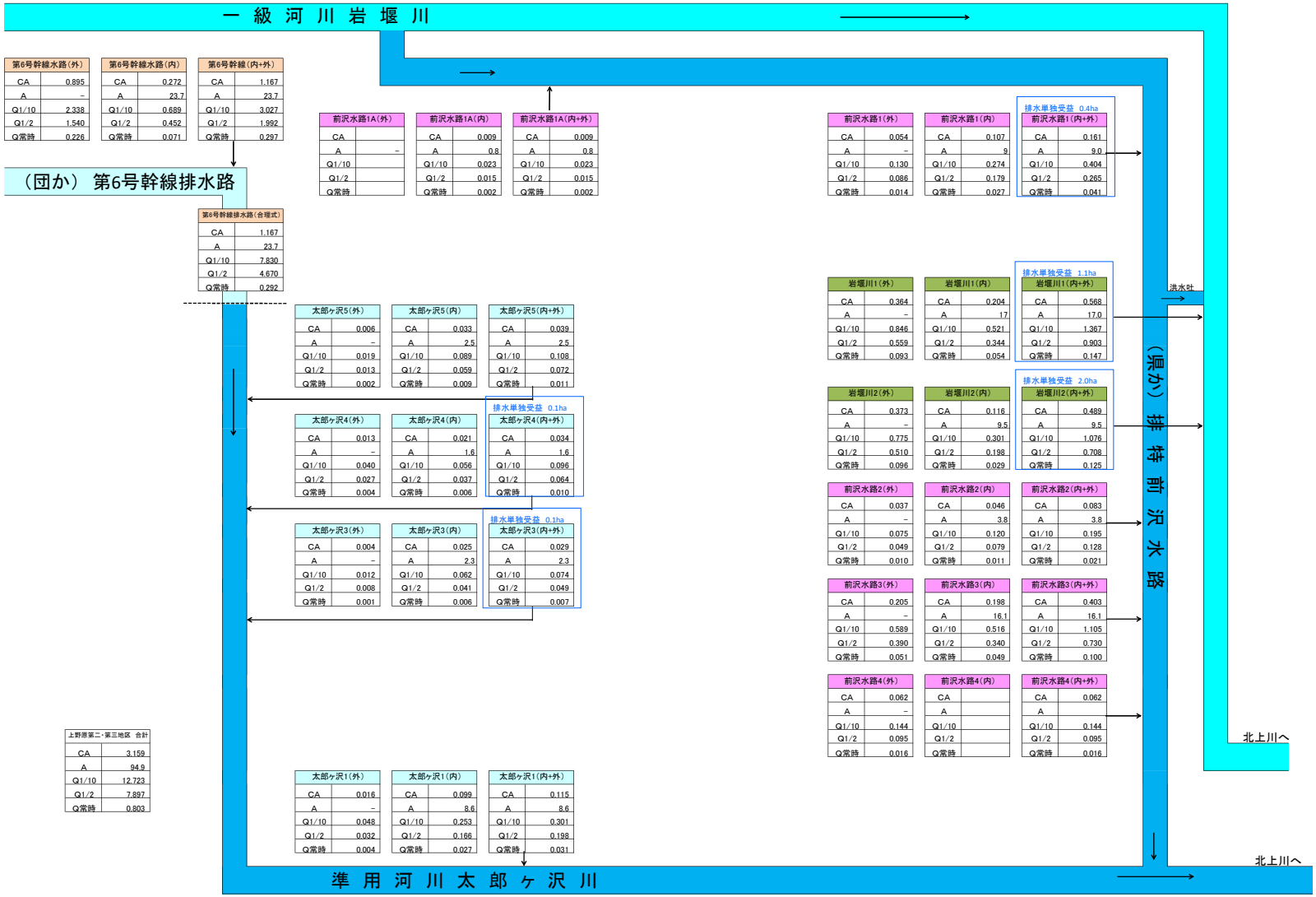
２．計画排水方式

自然流下排水

３．計画排水系統

次頁参照

上野原地区　計画排水系統模式図



４．計画排水量

（第１１表－１）

項目 / 排水系統名	受益面積（ha） 事業名 区画整理	用排水	計	流域面積（km²） 山地	平地	基準雨量（mm）	降雨による直接単位流出量（m³/s/km²） 山地	平地	基底流出量（m³/s/km²） 山地	平地	全排水量（m³/s） 山地	平地 自然排水	機械排水	単位排水量（m³/s/km²） 山地	平地	備考
県営排特前沢水路	29.7	0.4	30.1	－	0.718	77.4mm/4hr	－	1/10確率 1.613～3.494	－	0.250	－	1.871	－	－	1/10確率 1.613～3.494	
一級河川岩堰川	26.5	3.1	29.6	－	1.057	77.4mm/4hr	－	1/10確率 1.613～3.494	－	0.250	－	2.443	－	－	1/10確率 1.613～3.494	
準用河川太郎ヶ沢川	15.0	0.2	15.2	－	0.217	77.4mm/4hr	－	1/10確率 1.613～3.494	－	0.250	－	0.579	－	－	1/10確率 1.613～3.494	
第6号幹線水路	23.7	－	23.7	－	1.167	77.4mm/4hr	－	1/10確率 4.168～9.031	－	0.250	－	7.830	－	－	1/10確率 4.168～9.031	
計	94.9	3.7	98.6	－	3.159						－	12.723	－			

５．排水対策

（１）排水水門　該当なし

（第１１表-２）

項目 名称	流域面積 (km²)	受益面積(ha) 事業名			計画		排水本川			備考
				計	排水量 (m³/s)	地区内たん水深 (m)	名称	計画洪水量 (m³/s)	計画洪水位 (m)	

（２）排水機　　該当なし

（第１１表-3）

項目 名称	流域面積 (km²)	受益面積(ha) 事業名			計画		排水機				備考
				計	排水量 (m³/s)	地区内たん水深 (m)	実揚程 (m)	排水量 (m³/s)	台数 (台)	全排水量 (m3/s)	

(3)　排水路

（第１１表－４）

項目 / 名称	流域面積 (km^2)	受益面積 (ha) 事業名 区画整理		計	計画排水量 (m^3/s)	延長 (m)	構造	排水本川 名称	計画洪水量 (m^3/s)	計画洪水位 (m)	備考
小排水路	3.159	94.9		94.9	12.723	13,734	排水ﾌﾘｭｰﾑ	北上川	－	－	
支線排水路	(1.167)	(23.7)		(23.7)	(7.830)	535	大型フリューム	北上川	－	－	()は内数
計	3.159	94.9		94.9	12.723	14,269					

(4)　その他　　該当なし

６．湛水検討　　該当なし

第５節　道路計画

１．道路及び索道

（１）道路

（第１２表－１）

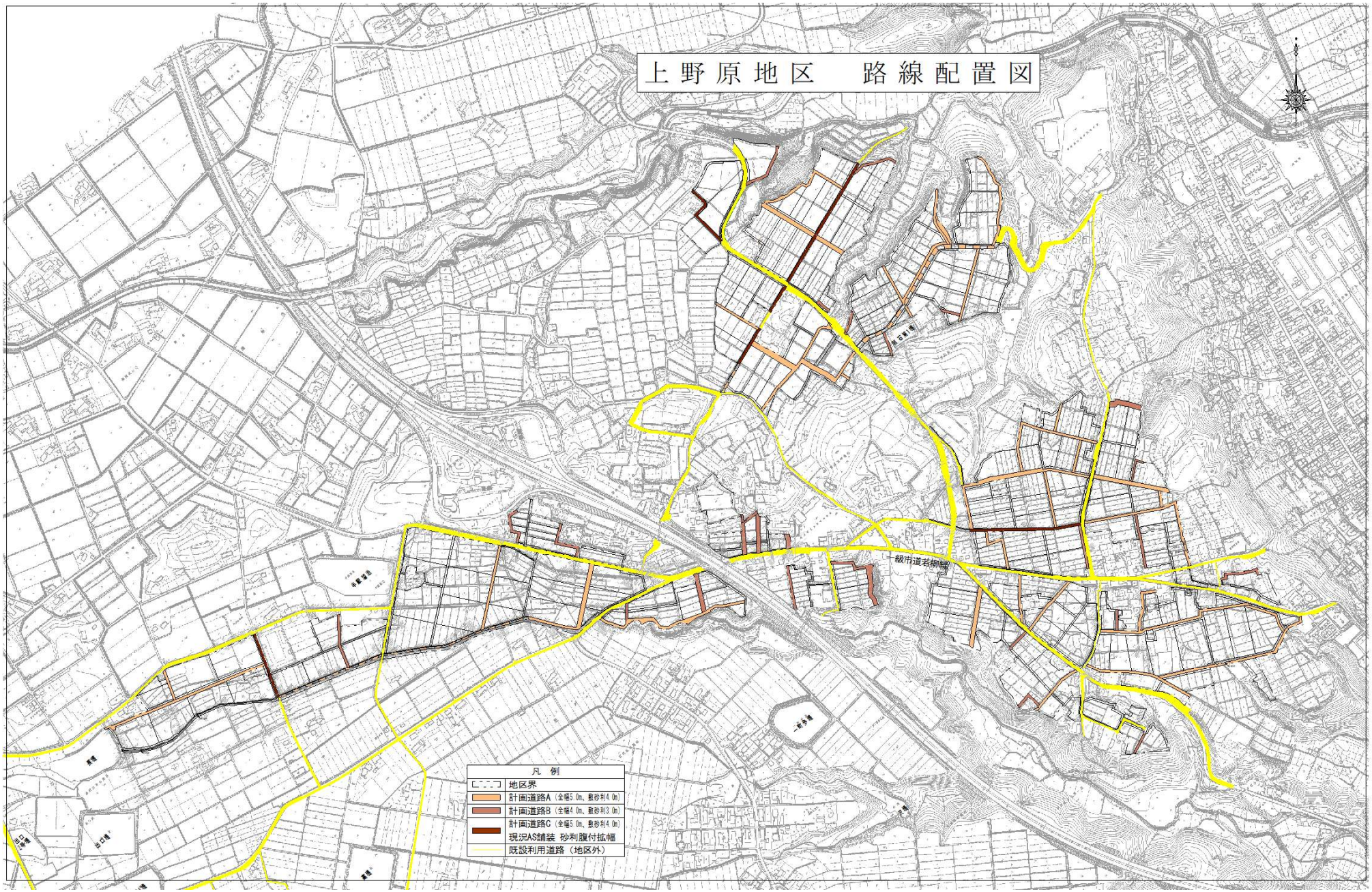
項　目 路線名	幅(有効)×延長 (m)　　(m)	構　　造	既設道路との関係	備　　考
支線道路(A)	5.0(4.0)×8,136	敷砂利工（ｔ＝0.10m）	市道取付あり	
支線道路(B)	4.0(3.0)×2,620	敷砂利工（ｔ＝0.10m）	〃	
支線道路(C)	3.0(2.0)×1,280	敷砂利工（ｔ＝0.10m）	〃	腹付拡幅
計	12,036			

（２）索道　　該当なし

２．路線配置図

別紙のとおり

路線配置図


上野原地区　路線配置図
一級市道若柳線
凡　例
地区界
計画道路A（全幅5.0m、敷砂利4.0m）
計画道路B（全幅4.0m、敷砂利3.0m）
計画道路C（全幅5.0m、敷砂利4.0m）
現況AS舗装 砂利腹付拡幅
既設利用道路（地区外）

第６節　農用地造成計画

１．農用地造成計画

(1)農地造成計画

該当なし　　（第１３表-１）

項目 地区名	主要作物	自然傾斜	耕地の形態	標準区画の形状	備　　考

(2)末端道排水路配置計画　　該当なし

２．土壌改良

該当なし　　（第１３表-２）

項目 区分	面　　積 (ha)	土 壌 統 （ 区 ）名	ＰＨ		置換酸度 (Y_1)	りん酸吸収係数 (mg/100g)	ha当たり所要量（t/ha）			備　　考
			H_2O	KGl			石炭	りん酸質資材	有機質資材	

第７節　洪水調節計画

１．計画基準雨量　　該当なし

２．計画洪水量及び調節量

該当なし　　（第１４表-１）

地　　点	流域面積 (km²)	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 (m³/s)	安全洪水量 (m³/s)	必要調節量 (m³/s)	ピーク時調節量 (m³/s)	調節後最大流量 (m³/s)	調節前後の最大流量の差 (m³/s)	最大調節量 (m³/s)

３．貯水池

該当なし　　（第１４表-２）

項目／貯水地名	流域面積(km²)		計画洪水量 (m³/s)	貯水量（千m³）			計画調節流量 (m³/s)	可能調節流量 (m³/s)	備　考
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的			

４．洪水調節検討

（１）河川改修計画との関係　　該当なし

（２）洪水調節が下流に及ぼす影響　　該当なし

（３）計画基準雨量以外についての検討　　該当なし

５．管理計画

（１）管理機構　　該当なし

（２）ダム管理操作上の各種基準　　該当なし

（３）洪水調節要領　　該当なし

第８節　干拓計画

該当なし

（第１５表）

項目 名称	延長 (m)	計画高潮(水)位 （ＩＰｍ）	風向及び対岸距離 (km)	風　速 (m/s)	気　圧 (mb)	備　　考

第９節　農用地整備計画

１．区画整理

(1)　区画の形状

（第１６表－１）

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割　　合 (%)	田　面　差 (m)	備　　考
水田					
125　×　80	1.0	10.6	11	1.0	
125　×　40	0.5	51.6	54	1.0	
その他	－	30.0	32	－	
畑	－	2.7	3	－	
計		94.9			

(2)　表土扱い

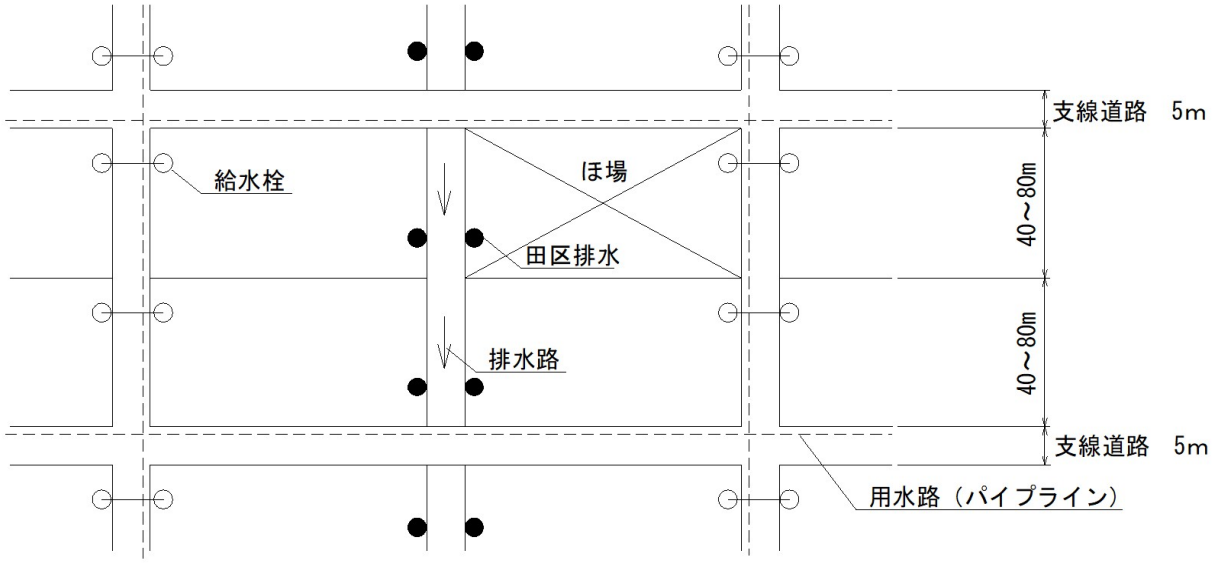
（第１６表－２）

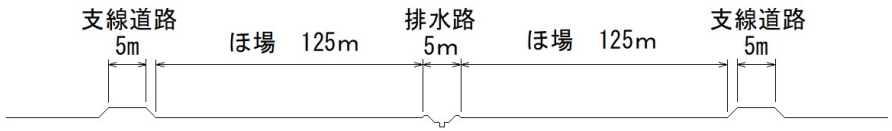
面　　積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土　　量 (m3)	備　　考
94.9	地力の保持	15,20	143,700	田15cm，畑20cm

(3)　末端道水路配置図

別紙のとおり

末端道水路配置図


支線道路　5m
給水栓
ほ場
田区排水
40～80m
40～80m
排水路
支線道路　5m
用水路（パイプライン）


支線道路
5m
ほ場　125m
排水路
5m
ほ場　125m
支線道路
5m

２．暗渠排水

(1) 暗渠排水

（第１６表-３-１）

項目 区分	面　　積　　(ha) 事　　業　　名 区画整理		計	土壌統（区）名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 (L/s/ha)	計画後の地下水位 (m)	集水渠出口以下の排水方法	備　考
暗渠排水	77.2		77.2	グライ土壌強粘土構造型	50	5.79	0.5	自然排水	E-40
〃	15.0		15.0	黒色土壌粘土火山腐植型	50	5.79	0.5	自然排水	H70-1
計	92.2		92.2						

(2) 心土破砕　該当なし

（第１６表-３-２）

項目 区分	面　　積　　(ha) 事　　業　　名			土壌統（区）名	土壌硬度 (mm/日)	備　考
計						

３．客土　　該当なし

（第１６表-４）

項目 区分	面積 (ha)			土壌統（区）名	減水深(mm/日)		作土の厚さ(cm)		10a当たり客土量 (m³)	土壌の性質		備考
	事業名									受益地 (%)	採土地（客土材料） (%)	
			計		現況平均	計画平均	現況平均	計画平均				
計												

４．農地保全

（１）防災林　該当なし

（第１６表-５-１）

項目 区分	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間隔 (m)	備考

（２）排水工　該当なし

（第１６表-５-２）

項目 区分	基準雨量 (mm/日)	土性	流出率	排水量		備考
				単位排水量 (m³/s/ha)	全排水量 (m³/s)	

（３）侵食（崩壊）防止工

該当なし　　（第１６表-５-３）

区分＼項目	位　　置	支配面積（ha）	機　　能	備　　考
計				

第１０節　老朽ため池改修計画

１．洪水吐改修計画　　該当なし

（１）計画基準雨量　　該当なし

（２）計画洪水量　　該当なし

２．堤体補強計画　　該当なし

３．取水施設改修計画　　該当なし

第　5　章　　主 要 工 事 計 画

第１節　用水施設

１．貯水池　該当なし

（第１７表-１）

<table>
<tr><td>名　称</td><td colspan="3"></td><td>位　置</td><td colspan="6"></td><td rowspan="3">備　　考</td></tr>
<tr><td rowspan="2">堤　　体</td><td rowspan="2">形　　式</td><td colspan="2">流域面積(km²)</td><td rowspan="2">堤　高
(m)</td><td rowspan="2">堤 長
(m)</td><td rowspan="2">堤 体 質
(千m³)</td><td rowspan="2">基 盤 地 盤 地 質</td><td colspan="2">貯　水　量　(千m³)</td></tr>
<tr><td>直　　接</td><td>間　　接</td><td>総 貯 水 量</td><td>有効貯水量</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">洪 水 吐</td><td rowspan="2">形　　式</td><td rowspan="2">排 水 量
(m³/s)</td><td rowspan="2">備　考</td><td rowspan="2">取水施設</td><td rowspan="2">形　　式</td><td rowspan="2">取 水 量
(m³/s)</td><td rowspan="2">放流施設</td><td rowspan="2">形　式</td><td rowspan="2">放 流 量
(m³/s)</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

２．頭首工　該当なし

（第１７表-２）

名　称				位　置				備　考
形　式	堤　高 (m)	堤　長 (m)			取　水　位 (m)	取　水　量 (m^3/s)	附帯施設	
		固定部	可動部	計				

３．揚水機　該当なし

（第１７表-３）

項　目 ＼ 名　称	位　置	揚水量 (m^3/s)	揚　程(m)		揚　水　機			原　動　機			備考
			実揚程 (m)	全揚程 (m)	形　式	口　径 (mm)	台　数 (台)	形　式	動　力	台　数 (台)	

４．用　水　路

（第１７表－４）

項目 / 水路名	かんがい面積 (ha) 事業名 区画整理	用排水	計	通水量 (m^3/s)	延長 (m) 開渠	トンネルその他	計	構造	勾配	主要構造物	備考
末端用水路工	92.2	14.2	106.4	0.086		16,792	16,792	VU75～VU450	－		パイプライン
計	92.2	14.2	106.4			16,792	16,792				

５．その他かんがい施設

該当なし

（第１７表-５）

項目 / 水路名	構造	規模	数量	備考

第２節　排水施設

１．　排 水 水 門　　該当なし

（第１８表-１）

項目 名称	位　置	形　　式	構　　造	内 水 位 (m)	外 水 位 (m)	排 水 量 (m^3/s)	備　　考
計							

２．排　水　機　　該当なし

（第１８表-２）

項目 名称	位　置	排　水　量 (m^3/s)	揚　　程		排　　水　　機			原　　動　　機			備　考
			実 揚 程 (m)	全 揚 程 (m)	形　式	口　径 (m)	台　数 (台)	形　式	動　力	台　数 (台)	
計											

３．排　水　路

（第１８表－３）

項目 / 水路名	受益面積（ha） 事業名 区画整理		計	排水量 (m^3/s)	延長（km） 開水路	トンネルその他	計	構造	勾配	主要構造物	備考
排水路工	94.9		94.9	0.008～0.559	12.747	0.987	13.734	排水フリューム 300×300～600×600	1/190～1/1000	水槽工 横断暗渠工	
支線排水路	(23.7)		(23.7)	7.830	0.454	0.081	0.535	大型フリューム 1900×1000	1/335	落差工 BOX.C工	()は内数
計	94.9		94.9		13.201	1.068	14.269				

４．その他排水施設　該当なし

第３節　道路及び索道

１．道　　路

(1)　道路の総括表

（第１９表－１）

項目 / 区分	路線名	幅（有効）×延長 (m)　(km)	構造	附帯構造物 名称	附帯構造物 構造	附帯構造物 数量 (箇所)	最急勾配 (%)	同左の延長 (m)	最小曲線半径 (m)	備考
支線道路(A)	－	5.0(4.0)×8.136	砂利道	－	－	－	－	－	－	
支線道路(B)	－	4.0(3.0)×2.620	砂利道	－	－	－	－	－	－	
支線道路(C)	－	3.0(2.0)×1.280	砂利道	－	－	－	－	－	－	
計		12.036								

(2)　道路主要構造物　該当なし

２．索　　道　　該当なし

第４節　農用地造成

１．農用地造成

該当なし

（１）抜　根

該当なし

（第２０表-１）

項目 区分	樹　　種	樹　　径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面　　積 (ha)	工　　法	備　　考
計						

（２）除　礫

該当なし

（第２０表-２）

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除去 (m^3/ha)	面　　積 (ha)	工　　法	備　　考
計					

（３） 開墾作業

該当なし

（第２０表-３）

項目 区分		面　積 (ha)	工　法	備　考
地　目	造成方法			
計				

（４） 地目変換　　該当なし　（第２０表-４）
（５） 末端用水路　該当なし　（第２０表-５）
（６） 末端排水路　該当なし　（第２０表-６）

２． 土壌改良

該当なし

（第２０表-７）

項目 区分	面　積 (ha)	面　積 (ha)	面　積 (ha)	面　積 (ha)	備　考
計					

第５節　洪水調節施設

１．　貯　水　池　　該当なし

２．　頭首工及び導水路　　該当なし

（１）　頭首工　　該当なし

（第２１表-２）

名　称			位　置					備　考
			堤　長　(m)			計画洪水位 (m)	附帯施設	
形　式	集水面積 (km^2)	堤　高 (m)	固定部	可動部	計			

（２）　導水路　　該当なし

（第２１表-３）

項目 / 水　路	通水量 (m^3/s)	延　長　(m)			構　造	勾　配	備　考
		総延長	トンネル	その他			

第６節　干拓施設

１．堤防　　該当なし

（第２２表-１）

項目 / 名　称	面　積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m)	施工方法	備　考

２．潮止め　　該当なし

（第２２表-２）

項目 / 名　称	工　法	幅　見 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備　考

３．付属施設　　該当なし

４．埋立　　該当なし

（第２２表-３）

項目 / 名　称	面　積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m)	施工方法 (m)	備　考

第７節　農用地整備施設

１．区画整理

（１）区画整理　　（第２３表-１）

工区名	面積（ha）	整地工		表土扱い		備考
		標準区画	土量（m^3）	面積（ha）	土量（m^3）	
上野原	10.6	125 × 80	―	10.6	15,900	田　t=15cm
	51.6	125 × 40	―	51.6	77,400	〃
	30.0	-	―	30.0	45,000	〃
	2.7	-	―	2.7	5,400	畑　t=20cm
計	94.9			94.9	143,700	

（２）末端用水路等　　該当なし　　（第２３表-２）

区分＼項目	数量	規模	構造	備考
計				

（３）末端排水路等　　該当なし　　（第２３表-３）

区分＼項目	数量	規模	構造	備考
計				

２．暗渠排水

（１）暗渠排水　　（第２３表-４-１）

項目 / 区分	面積(ha) 事業名 区画整理		計	集水渠 勾配	管種	管径(mm)	延長(m/ha)	吸水渠 勾配	管種	管径(mm)	深さ(m)	間隔(m)	延長(m/ha)	集水渠出口以下の排水施設 名称	構造	数量(m/ha)	備考
自動埋設型暗渠工	92.2		92.2	ﾚﾍﾞﾙ	ポリ管	φ50～65	36	水頭差	ポリ管	φ50～60	0.6	10.0	947	小排水路	HF	134	
計	92.2		92.2														

（２）心土破砕　該当なし　　（第２３表-４-２）

項目 / 区分	対象土層の厚さ(cm)	ha当たり標準除礫量(m^3/ha)	面積(ha)	工法	備考
計					

３．客　土　　該当なし　　（第２３表-５）

項目 / 区分	面積(ha) 事業名		計	客入土量(m^3)	土取場土量(m^3)	運搬距離(km)	運搬方法	備考
計								

４．除　礫　　該当なし　　（第２３表-６）

項目 / 区分	対象土層の厚さ(cm)	ha当たり標準除礫量(m^3/ha)	面積(ha)	工法	備考
計					

４．農地保全　　該当なし

（１）　防災林　該当なし

（第２３表-７）

項目 区分	幅 （m）	延　長 （m）	面　積 （ha）	樹　種	植 栽 本 数 （本）	備　　考
計						

（２）　排水路　該当なし

（第２３表-８）

項目 区分	延　長 （m）	流　量 （m）	構　　造	備　　考
計				

（３）　侵食防止工　該当なし

（第２３表-９）

項目 名称	構　　造	数　　量	備　　考
計			

第８節　老朽ため池改修施設

１．貯水池　　該当なし

（第２４表）

<table>
<tr><td>名　称</td><td colspan="4"></td><td>位　置</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">堤　体</td><td>形　式</td><td>流　域
(km²)</td><td>堤　高
(m)</td><td>堤　長
(m)</td><td>堤体積
(m³)</td><td>堤頂幅
(m)</td><td>貯水量
(千m³)</td><td>備　　考</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">洪水吐</td><td>形　式</td><td>洪水量
(m³/s)</td><td>規　模
(m)</td><td>備　考</td><td rowspan="2">取水施設</td><td>形　式</td><td>取水量
(m³/s)</td><td>備　　考</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

２．堤体補強施設

該当なし

（１）のり面保護施設

該当なし

（２）漏水防止工

該当なし

第６章　　附　帯　工　事　計　画

該当なし

第７章　　工事の着手及び完了の予定時期

着　手	令和	8	年度
完　了	令和	17	年度

第８章　　環境との調和への配慮

本地区は田園環境整備マスタープランにおいて「環境配慮区域」とされており、地域で生育・生息が確認されている動植物の生息環境への負荷の低減に努め、現況保全すること等により、環境の改変を最小限にするよう努めることとしている。

環境との調和への配慮として、地区内で生息が確認された保全対象種については、有識者委員の指導・助言を得ながら、工事施工前に地区に隣接した生息環境が類似している箇所を利用し移植・移動する。また、景観を阻害しないように現地形に沿った区画設計とし、農村景観への影響を最小限にする。

第９章　換　地　計　画　の　概　要

第１節　換地計画を作成する上での基本的な考え方

本地区は、地区内面積113.0haの水田地域で、農地は10ａ～20a区画に整理されているが、今後の農業経営を考えて、本事業により生産基盤を整備し、農業機械の作業効率化、営農労力の節減を図り、生産性の向上を得るために、農地を担い手中心に集落別地目別に集団化するように換地計画を樹立する。

第２節　換地区の設定

１．換地区の名称、所在、面積

（第２５表－１）

換　地　区　名	換　地　区　の　所　在	面　積（ha）
上野原	岩手県奥州市胆沢小山、前沢　地内	113.0
計		113.0

２．換地区を設定する理由

営農形態のまとまりが形成されている区域を１つの換地区として設定する。

第３節　換地計画樹立の基本方針

１．従前の土地の地積の基準

（第２５表－２）

換地区名	地　積　の　基　準
上　　野　　原	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とする。 但し、上記の日から１年以内に測量士等の資格者が測量した実測図に、隣接所有者の承諾書を添付して申出があった場合は、その申出の地積とする。

２．用途別予定地積

（単位：ha）　（第２５表－３）

換地区名	用途（取得予定者）／前後	非農用地区域外に換地する土地													非農用地区域に換地する土地										機能交換に係る土地				一般国公有地	総合計
		田	畑	山林・原野	その他	通常事業施工地域に含める土地（令第１条の（　）書き）			計	本事業によって生ずる土地改良施設用地			創設農用地	合計	特定用途用地			異種目換地	創設非農用地					合計	国	県	市町村他	合計		
						土地改良施設	その他	小計		改良区	その他	小計			宅地	その他	計		農業経営合理化施設用地	生活上経営上必要な施設用地	公用・公共用施設用地	宅地等	計							
上野原	従前の土地	100.4	1.5	0.7	0.8	3.3	－	3.3	106.7	－	－	－	－	106.7	－	－	－	－						－	－	－	6.3	6.3	－	113.0
	換地	92.2	2.7	－	－	－	－	－	94.9	4.6	－	4.6	－	99.5	－	－	－	－						－	－	－	13.5	13.5	－	113.0
	従前の土地																													
	換地																													
	従前の土地																													
	換地																													
	従前の土地																													
	換地																													
	従前の土地																													
	換地																													
	従前の土地																													
	換地																													
合計	従前の土地	100.4	1.5	0.7	0.8	3.3	－	3.3	106.7	－	－	－	－	106.7	－	－	－	－						－	－	－	6.3	6.3	－	113.0
	換地	92.2	2.7	－	－	－	－	－	94.9	4.6	－	4.6	－	99.5	－	－	－	－						－	－	－	13.5	13.5	－	113.0

３．農用地集団化の方針

（第２５表－４）

区　分 換地区名	地帯別、グループ別団地の設定	個　人　別　換　地　の　方　法		
		位置の選択方法	１戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱い
上野原	営農グループ別集団化	予め特殊地の選定を行った後、各人の従前の土地が最も密集した位置を基本とするが、育成すべき担い手の経営農用地を中心として農用地集積が図れるように配慮する。	1～2団地	固定畦畔

４．非農用地換地の方法　該当なし

（第２５表－５）

区　分 地区名	用　途	非農用地区域の位置の概略	面　積(m^2)	換地の手法	換地取得予定者	そ　の　他

第４節　土地の評価及び清算の方法

１．評価の方法

項目別配点方式

従前の土地と換地をそれぞれ個別に、かつ、１筆毎に各評価項目について採点し、項目別に得られた採点結果を積み上げてその土地の点数とし、点数に対応する等位をつける。

２．清算の方法

比例地積清算方式

事業による利益（増価額）を従前の土地の地積に比例して配分する。

第５節　換地計画樹立の年度計画

（第２５表－６）

区分 換地区名	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備考
上野原	令和9～16年度	令和17年度	令和17年度	確定測量　令和16年度

第６節　換地処分の時期に関する特則

換地区全部について区画変更工事が完了し、確定測量が行われたときは、土地改良法第89条の2第10項で準用する同法第54条第2項本文の規定に関わらず、換地処分を行うものとする。

第１０章　　事業費の総額及び内訳

単位：千円

事業区分	事　業　費		資　金　計　画			
			国　費	県　費	市町村費	受益者負担
区画整理	純　工　事　費	2,750,000	1,375,000　(50%)	825,000　(30%)	275,000　(10%)	275,000　(10%)
	測 量 試 験 費	327,000	163,500　(50%)	98,100　(30%)	32,700　(10%)	32,700　(10%)
	用地買収補償費	202,000	101,000　(50%)	60,600　(30%)	20,200　(10%)	20,200　(10%)
	換　地　費	186,000	93,000　(50%)	55,800　(30%)	18,600　(10%)	18,600　(10%)
	工　事　雑　費					
	計	3,465,000	1,732,500	1,039,500	346,500	346,500
	事　務　費					
	総　事　業　費	3,465,000	1,732,500	1,039,500	346,500	346,500

第１１章　　効　　用

単位：千円

事業区分	区分＼項目	年総効果(便益)額	年増加農業所得額	備考
区画整理	作物生産効果	65,103	13,311	
	営農経費節減効果	208,533	224,360	
	維持管理費節減効果	△ 1,042	3,581	
	耕作放棄防止効果	9	－	
	国産農産物安定供給効果	13,155	－	
	計	285,758	241,252	総費用総便益比　1.27

第１２章　関 連 す る 事 業

（第２８表）

区　分	事　業　名	事 業 主 体	受 益 面 積 (ha)	事 業 内 容
異 種	国営胆沢平野 農業水利事業	国	9,830	用水路　12路線　33km 排水路　 7路線　19km
	県営農業用水再編対策 事業胆沢平野地区	岩手県	8,835	用水路　36路線　112km 排水路　33路線　91km

第１３章　　現 況・計 画 図 面

１．位　　置　　図　　別途添付

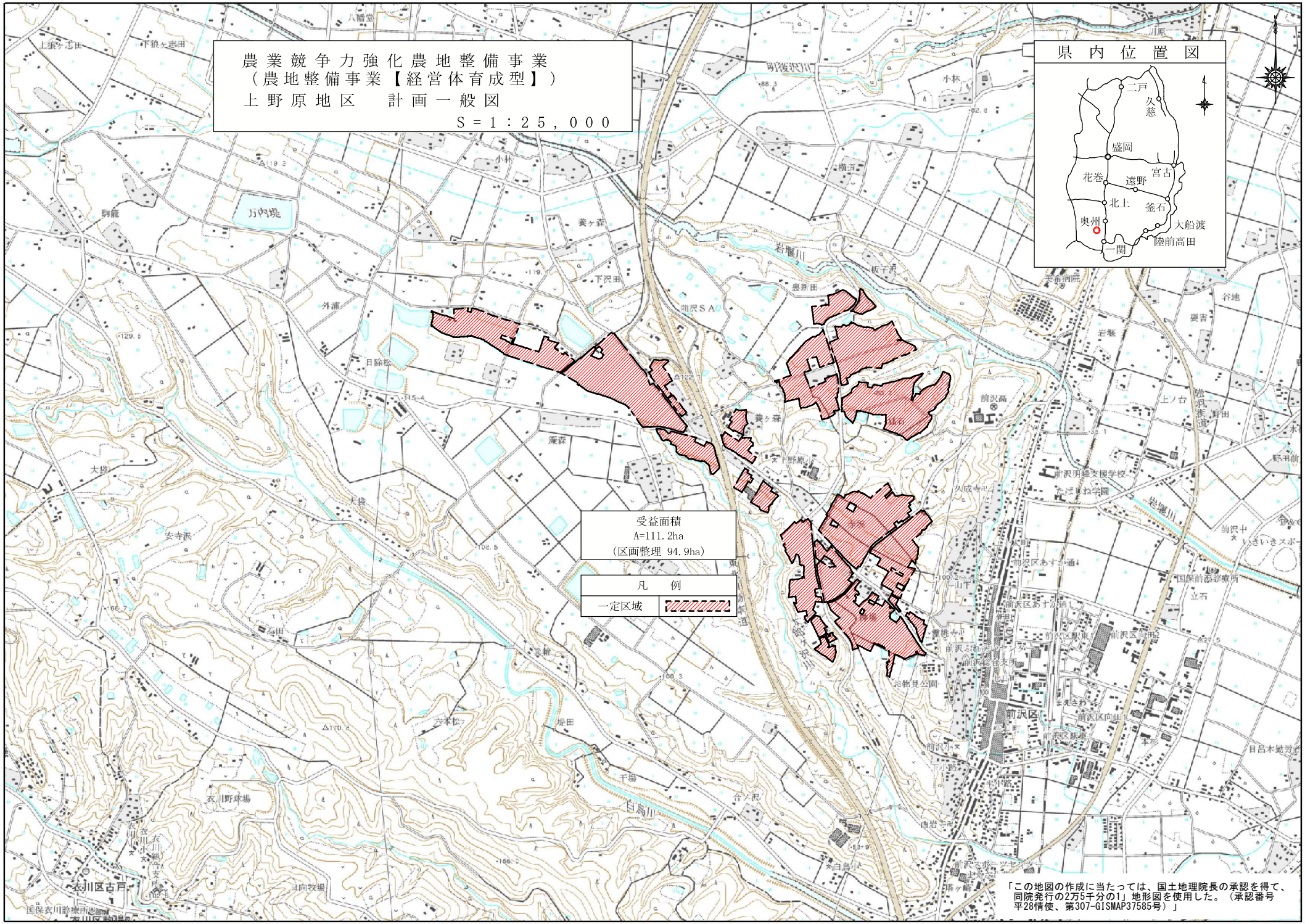
２．現　況　計　画　平　面　図　　別途添付

３．土　地　利　用　計　画　図　　別途添付

４．主　要　構　造　図　　別途添付

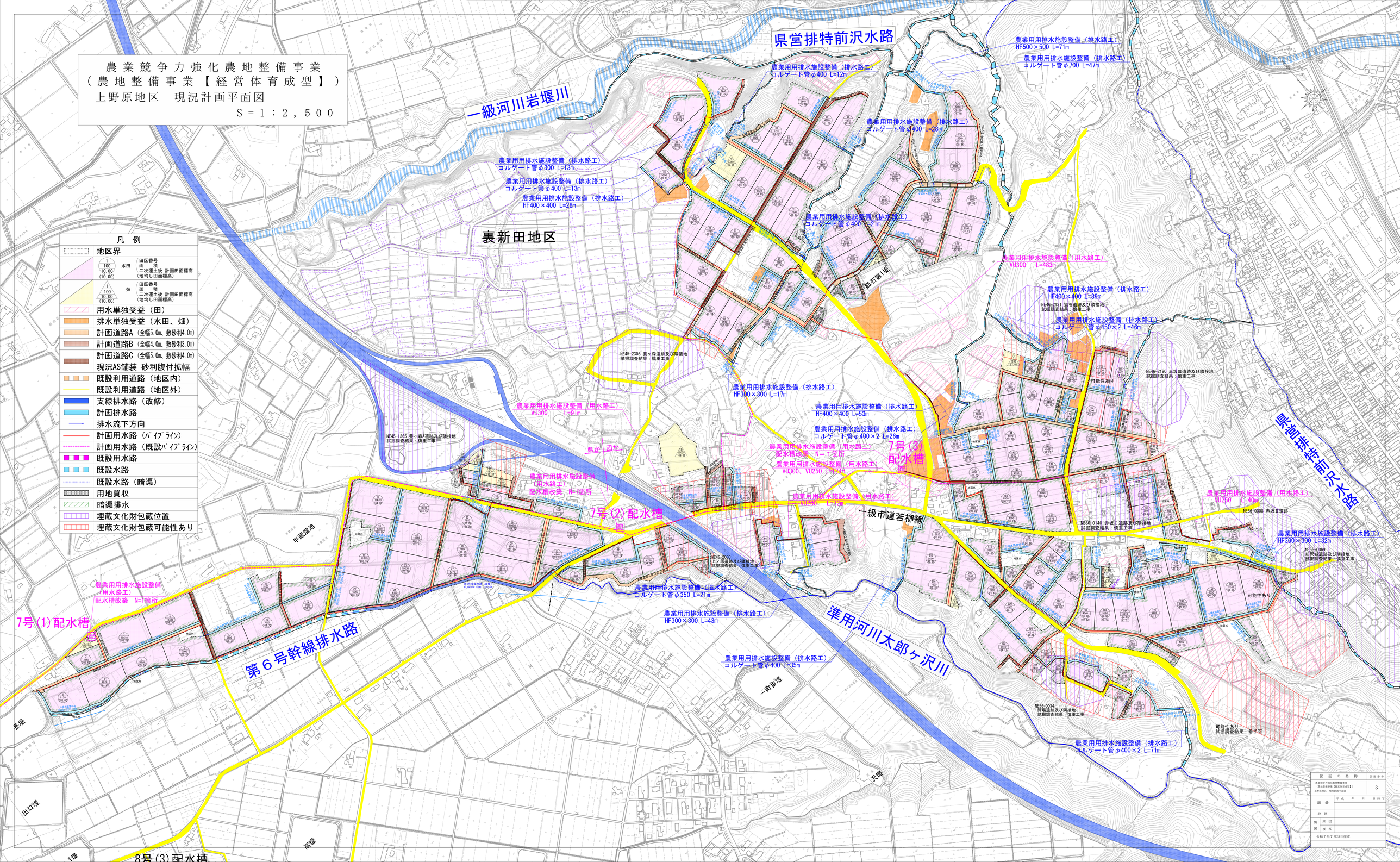
農業競争力強化農地整備事業
（農地整備事業【経営体育成型】）
上野原地区　計画一般図

S＝1：25，000



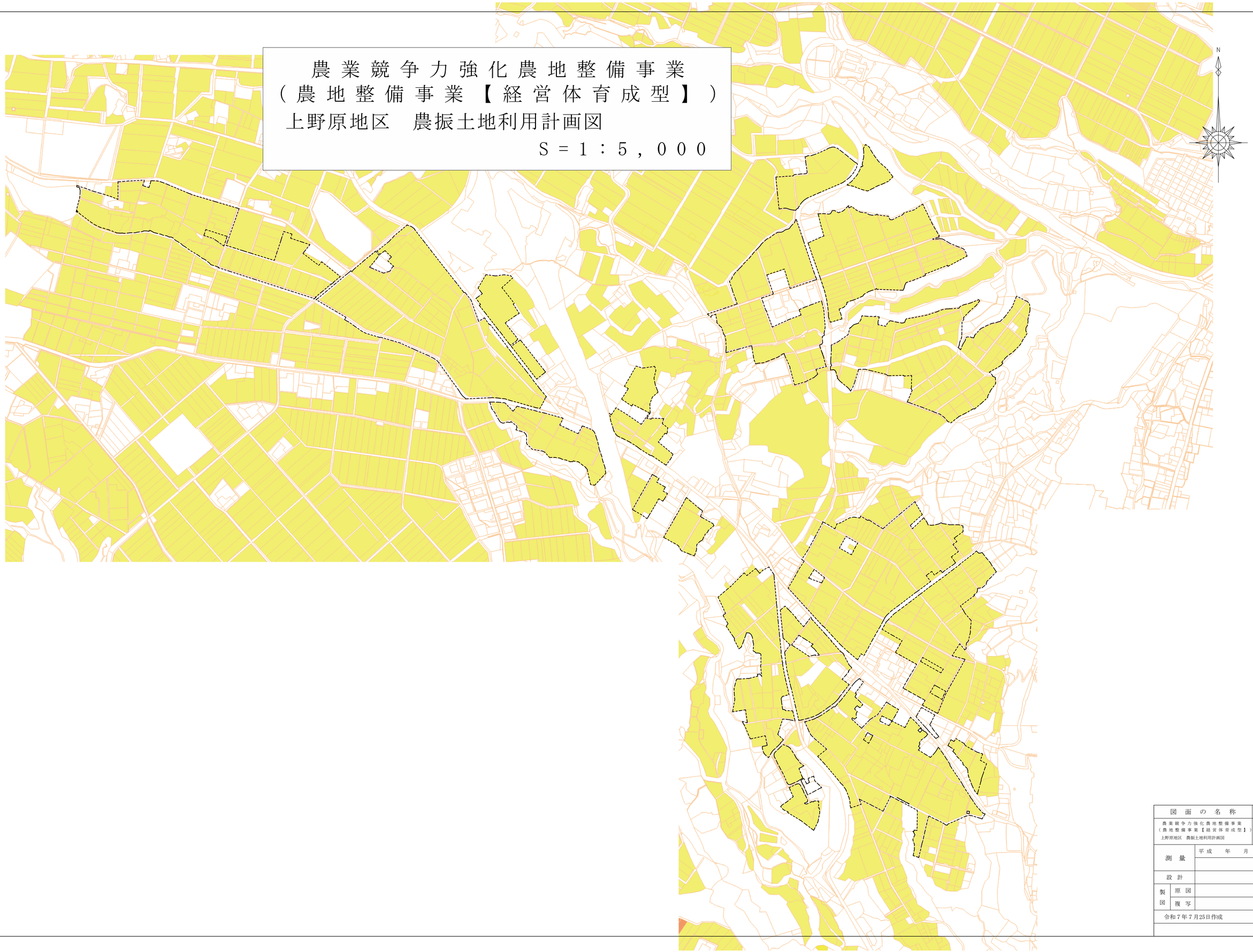
農業競争力強化農地整備事業
（農地整備事業【経営体育成型】）
上野原地区　現況計画平面図

S＝1：2，500



農業競争力強化農地整備事業
（農地整備事業【経営体育成型】）
上野原地区　農振土地利用計画図

S＝1：5，000

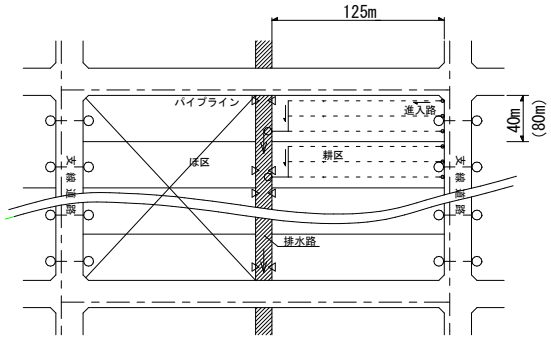


図面の名称		図面番号
農業競争力強化農地整備事業（農地整備事業【経営体育成型】）上野原地区　農振土地利用計画図		9
測量	平成　年　月　日終了	
設計		
製図	原図	
	複写	
令和７年７月25日作成		

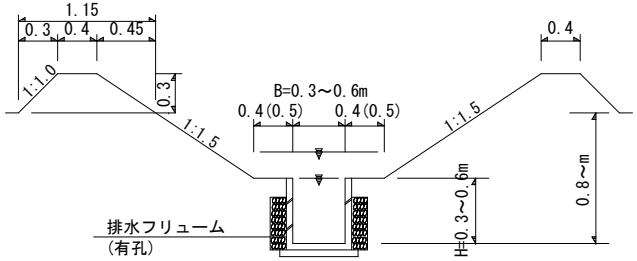
上野原地区標準断面図

標準区画割図

50a（100a）

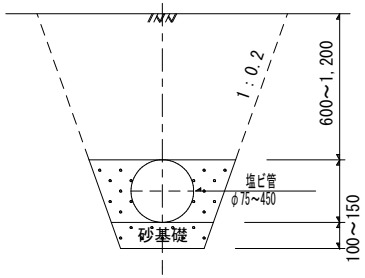


小排水路



※凍上防止工は壁高H=500mm以上の場合に設置する

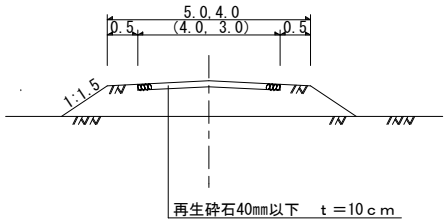
管水路



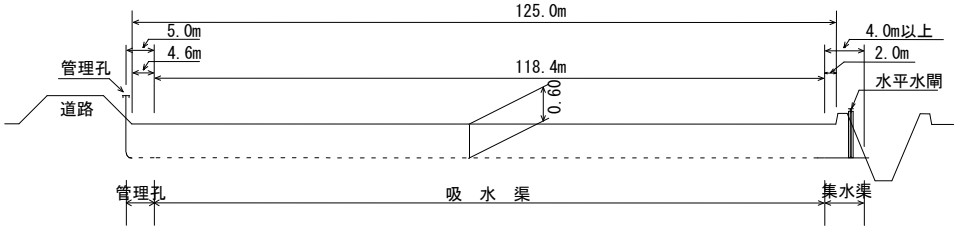
支線道路A、B

5.0(4.0)

4.0(3.0)

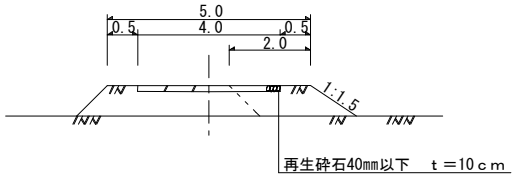


暗渠排水

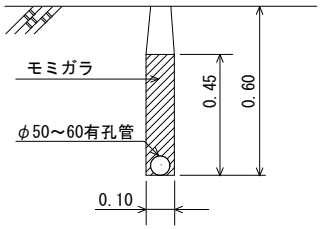


支線道路C

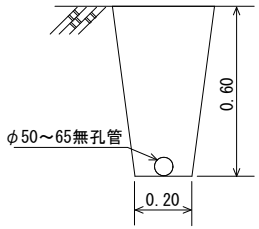
5.0(4.0)2m腹付拡幅



ドレンレイヤー標準図



集水渠断面図



図面の名称		図面番号
農業競争力強化農地整備事業（農地整備事業【経営体育成型】）上野原地区　標準断面図		13
測量	平成　年　月　日終了	
設計		
製図	原図	
	複写	
令和7年7月25日作成		